

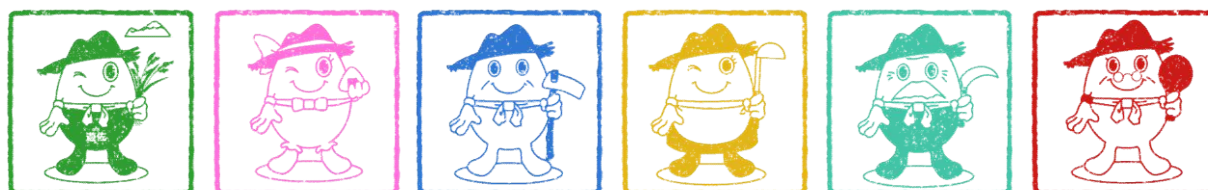
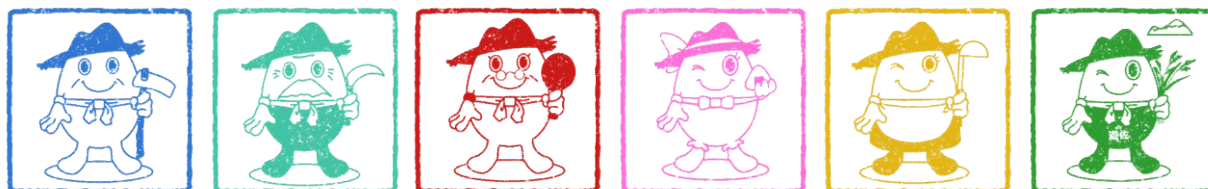
令和4年度

第20期

遊佐町

少年町長・少年議員
公選事業

活動報告書



令和5年3月 遊佐町

第20期遊佐町少年町長・少年議員公選事業活動報告書

目次

活動経過報告	...	1
実施要項	...	3
立候補者募集チラシ	...	6
少年町長・少年議員公選事業 選挙公報	...	7
少年町長・少年議員公選事業 少年議会広報	...	9
第20期少年町長・少年議員一覧	...	11
有権者（町内在住・在学中高生）向けアンケート	...	12
アンケート集計	...	13
一般質問・政策提言 一覧	...	17
第2回少年議会 – 施政方針・一般質問・政策提言	...	18
第3回少年議会 – 全体総括・議会報告	...	27
 (資料)		
遊佐町少年町長・少年議員公選事業説明資料	...	37
町議会議員との意見交換会の様子	...	42
東北芸術工科大学への視察研修の様子	...	43
特産品開発（政策）	...	44
ゆざマルシェの様子	...	45
今年度の取材の様子	...	46
広報ゆざ 令和4年8月1日号（少年議会スタート）	...	47
広報ゆざ 令和5年3月1日号（第20期活動報告）	...	48
プロジェクト委員名簿	...	51

令和4年度 第20期遊佐町少年町長・少年議員 活動日程

No.	期 日	活 動	場 所	備 考
1	6月7日	北海道大学zoom収録	センター	北海道大学の授業で使用
2	6月18日	NHK取材	町内	少年町長・副町長取材（NHK）
3	6月19日	少年議会選挙 開票	センター	
4	6月21日	選挙音源の録音	役場	参議院議員選挙へ向けた呼びかけ
5		zoom取材	センター	TBSラジオ
6	6月24日	TBS取材	町内	遊佐町長・少年町長取材対応
7	6月28日	当選証書附与式・第1回少年議会	センター	所信表明
8	7月6日	第1回全員協議会	センター	自己紹介
9	7月10日	第2回全員協議会	センター	アンケート集計
10	7月14日	クレードル取材	センター	
11		第3回全員協議会	センター	要望・政策についての協議
12	7月21日	第4回全員協議会	センター	作文添削
13	8月3日	第5回全員協議会	センター	政策についての協議
14		笑下村塾取材（たかまつなな氏）	センター	少年町長・菅原監査対応
15	8月19日	ふらっと・さんゆうへ視察	町内	特産品開発活動
16		第6回全員協議会	センター	政策についての協議
17	8月23日	愛知県教員少年議会へ研修	センター	佐藤議員・菅原
18		第2回少年議会	センター	政策提言・一般質問
19	8月23日, 9月12日	石川県21ネットワーク録画	役場・センター	遊佐町長・少年町長・少年議長
20	8月24日	徳島新聞取材	センター	
21	9月4日	ワンデーマーチ ラジオ出演	町内	少年町長・佐藤議員対応
22	9月11日	第7回全員協議会	センター	政策についての協議
23	9月14日	第8回全員協議会	センター	政策についての協議
24	9月30日	町議員との意見交換会	センター	町議員12名、少年議会17名参加

No.	期 日	活 動	場 所	備 考
25	10月2日	山居倉庫視察	酒田市	特産品開発活動
26	10月6日	第9回全員協議会	センター	政策についての協議
27	10月9日	鹿の角切り	大平山荘	神事は中止の為、角切りのみ参加
28	10月12日	第10回全員協議会	センター	政策についての協議
29	10月15日	第11回全員協議会	センター	政策についての協議（マルシェ視察）
30	10月19日	第12回全員協議会	センター	政策についての協議
31	10月22日	視察研修	センター	東北芸術工科大学への視察
32	10月27日	第13回全員協議会	センター	政策についての協議
33	11月4日	第14回全員協議会	センター	政策についての協議
34	11月6日	ゆぎマルシェの開催	センター	まるっと遊佐まつりにて
35	11月10日	第15回全員協議会	センター	政策についての協議
36	11月17日	第16回全員協議会	センター	政策についての協議
37	11月18日	地方議会活性化シンポジウム	役場	パネリスト
38	11月24日	特産品提案・NHK取材	センター	道の駅 鳥海ふらっと 駅長へ
39	11月28日	地域コミュニティフォーラム	山形市	パネリスト
40	11月29日	フジテレビ取材	防災C	菅原監査・片山事務局対応
41	12月8日	遊佐町長・少年議員対談	センター	佐藤少年町長・安藤少年副町長出席
42	12月19日	第3回少年議会	センター	活動報告
43	1月4日	クレードル取材	役場	少年町長対応
44	2月8日	テレビ東京取材	センター	少年町長対応
45	2月27日	共同通信取材	センター	少年副町長・金澤監査対応
46	3月7日	産経新聞取材	センター	少年副町長・鈴木少年議長 矢口少年議員・片山少年事務局次長対応
47		龍谷大学		
48	3月16日	朝日新聞取材	センター	少年町長対応

※各市区町村からの行政視察等の事務局だけで対応したものを除く

遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項（第20期）

1. 名称 「遊佐町少年町長・少年議員公選事業」

2. タイトル 「若者の力で、遊佐の未来をつくろう」

常に、歴史は若者によって創られてきました。地域の青年たちは、いつでも地域を変革していく「力」を蓄えています。青年たちが自分たちの住むまちを自分たちの協働の「力」で変革しはじめるとき、時代が拓かれ地域の民主主義が再生します。そして、地域の中で若者たちが生活者として認識され、若者たちの居場所と役割が地域の中に見えてきます。そのことを通じて、若者が生き生きと生活していく自立した地域が再生されます。

3. スローガン

自分たちの力で、自分たちが本当に求める遊佐のまちをつくろう。

遊佐町は、私たちが生まれ育った町です。鳥海山、月光川、庄内砂丘と日本海に抱かれ、豊かな自然や歴史風土あふれる町です。

21世紀をむかえ、私たちの前には地球規模でのしぜん環境の悪化、エネルギー、食糧、少子化・高齢化、さらに、民族問題、経済格差などの新たな問題や課題が横たわっています。改めて、これまでの社会、経済そして私たちの「生き方」「あり方」「生活の仕方」そのものの大転換が迫られています。

そして、さらに私たちを取り巻く仕組みの大きな変化として「分権社会」が到来し、自分たちの生き方を自分たちが決めていくという社会システムを構築していくことが求められています。

こうした状況をふまえて、こどもたちにおいては、勉強ができスポーツが上手であればそれでよしという時代ではなくなっているというのが現状です。その上で、人間らしく「生きる力」を育成し、開かれた個としての人格の完成に向けて、これまで以上に、こどもたちが社会とつながる活動を大切にしていくことが重要です。その過程を通して、気づき、考え、行動し、表現する。そのことによって、培われた「学力」は、一層生きて働く方向性を見出していきます。

本事業を通して、若者たちの意見や願いをもとに若者の力で遊佐町の地域づくりを行うと共に、相互教育を行おうとするものです。

4. 事業のねらい

- (1) 若者たちが、自らの代表を直接選び、政策を実現していくことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することにより社会の構成システムを学ぶ。
- (2) 中高校生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促す。
- (3) この事業に関わるすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を学ぶ、相互教育の場とする。

5. 少年町長・少年議員の対象者

対象者は、遊佐町在住の中高校生及び遊佐町に通学する高校生とする。
対象者はだれでも、少年町長及び少年議員の選挙権と被選挙権をもつ。
また、少年議員は、自らの政策立案権と少年町長の議案審議権を有する。

6. 構成員

(1) 少年町長（1名）

対象者のうち少年町長に立候補し、全有権者の投票により信任された者

(2) 少年議員（10名）

対象者のうち少年議員に立候補し、全有権者の投票により信任された者

(3) 少年副町長・少年監査委員・少年事務局長・少年事務局次長

特に必要があると認められるときに、少年町長・少年議員に立候補し、当選しなかった者のうちから委嘱する者。または、少年議員を除く少年町長・少年議員の対象者のうちから少年町長が選任する者

※少年議員の定員が定数内の場合は置かないものとする。

7. 少年町長

少年町長は、遊佐町少年町長・少年議員公選事業にかかる全ての有権者の代表であり少年議会で承認された政策の実現のため遊佐町長に対して、予算要求を行う権限をもつ。
また、遊佐町長より交付された政策予算の予算執行権をもつ。

8. 少年議員

少年議員は、少年町長が招集し議案を提案し承認を得る。少年議員は、最初の議会に議長及び議長代理を選任するとともに、少年町長の議案審議を行う。
併せて、自ら少年政策立案を少年議会の場で行うことができる。

9. 少年副町長

少年町長を補佐し、少年町長不在の場合、臨時的に政策実現における執行権限をもつ。

10. 少年監査委員

少年監査委員は、少年議会の附属機関として、予算執行に関する監査権をもち、少年町長に勧告することができる。

11. 少年事務局長

少年事務局長は、少年議会の附属機関として、全員協議会の運営の手伝い、その他の事務処理等を行うことができる。

12. 少年事務局次長

少年事務局次長は、少年議会の附属機関として、少年事務局長の指示の下、全員協議会の手伝い、事務処理等を行うことができる。

13. 事業期間

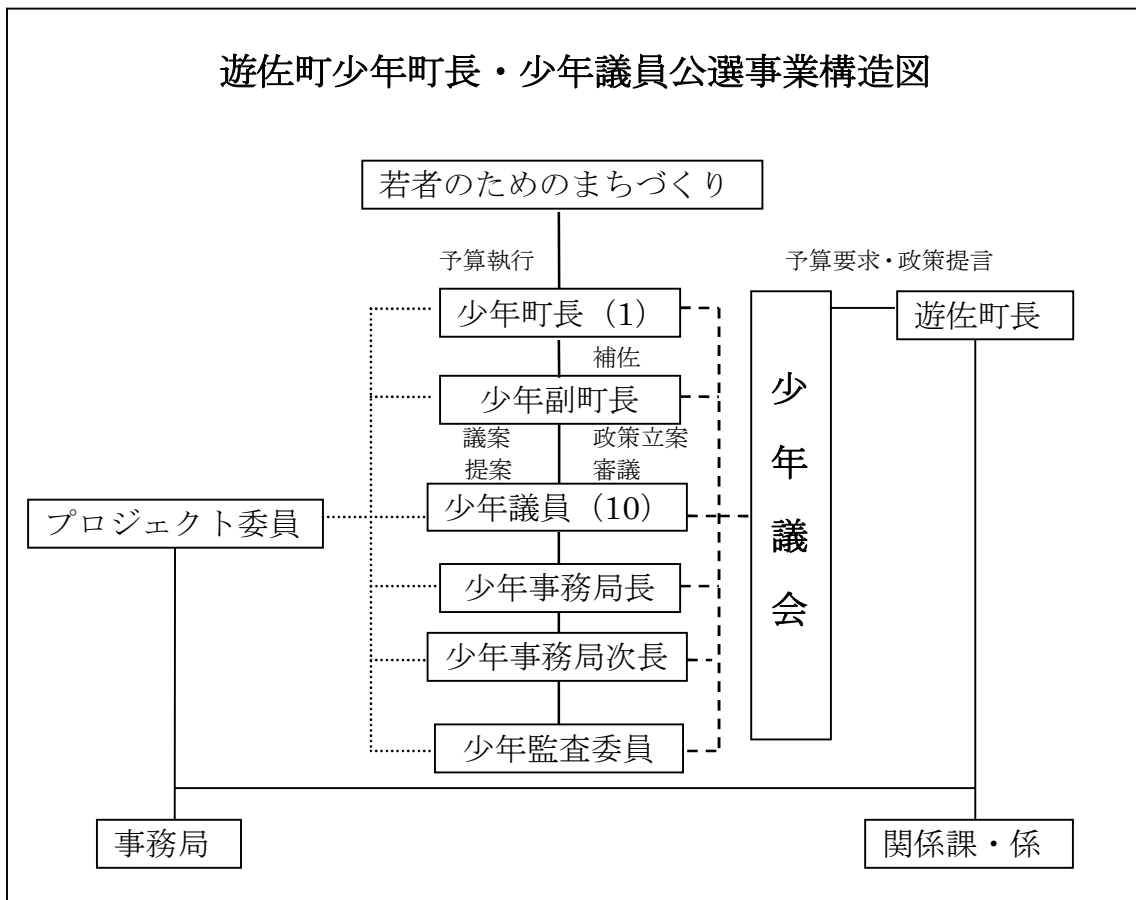
令和4年4月～12月（第20期）ただし、少年町長・少年議会から要望があるときは延長することができる。

14. 事業スケジュール（概案）

別紙参照

15. 政策予算

全期間を通じて450,000円とする。但し、町への提言に伴う予算は、所轄課で予算化する。



明日の遊佐町に
わたしたちは
提案します！

自分たちの
アイデアを
実現しよう！

いま 遊佐町少年町長・少年議員公選事業
中高生にしかできないことがある！

第20期 少年町長・少年議員

立候補者募集中



【受付期間】**2022 5/13(金)→20(金)**



I 選ぼう! 遊佐町に在住・在学の中高生の中から「少年町長」「少年議員」として活動してみたい人の立候補を受け付けます。定数を超えた場合は投票を行い当選者を決定します。

<p>立候補受付期間</p> <p>2022年 5/13(金)→20(金)</p>	<p>公選で選ぶ人</p> <p>① 少年町長 1名 ② 少年議員 10名 ※定数を超えた場合などには、少年副町長や少年監査などへ就任してもらいます。</p>	<p>立候補の仕方</p> <p>直接持参またはFAXによる届け出、もしくは各学校の先生へ用紙を提出してください。</p>
---	--	--

II 討議しよう! 少年町長・少年議員だけで集まり、町への要望や独自の政策など話し合いをする全員協議会は学校の勉強や部活動などを考慮して日にちを決めています。(例：土・日の午後、平日の夜など)

III 実現しよう! 全員協議会などで話し合った独自の政策を45万円の予算を用いて実現していきます。

- 昨年度の活動**
- ① 特産品の開発 → 地域おこし協力隊、遊佐ブランド推進協議会と協力して開発しました!!
 - ② 遊佐町オリジナルかるたの制作 → 町民と協力して「ゆざっこかるた」を作りました!!
- ※詳しくは「遊佐町 少年議会」で検索してください。少年議会専用のHPがあります。



問い合わせ 連絡先

遊佐町教育委員会教育課社会教育係
遊佐町遊佐字鶴田52-2 遊佐町生涯学習センター内)
TEL.0234-72-2236 FAX.0234-71-1222 MAIL:youthgikai@town.yuza.lg.jp

遊佐町少年議会 検索

【第20期】遊佐町少年町長・少年議員公選事業 立候補届

立候補 少年町長・少年議員	立候補の抱負
ふりがな	
氏名	
住所	
連絡先	
学校名	() 学年

※立候補の仕方は直接持参またはFAXによる届け出、もしくは各学校の先生へ用紙を提出してください。



米ちゃん
遊佐町イメージキャラクター

選挙公報



ライちゃん
遊佐町イメージキャラクター

明日の遊佐町に、ほくたちは、わたしたちは、提案します

立候補者はどんな人、どんな考えをもっている人かを参考にして選んでください。

遊佐町少年議員公選投票のおしらせ

投票期間／6月13日(月)～17日(金)

開票日／6月19日(日)14:00～ 遊佐町生涯学習センター

※各学校の投票日に投票できなかった人は遊佐町生涯学習センターで投票できます。(午前8時30分～午後9時まで)

学校	投票日	学校	投票日
遊佐中学校	6月14日(火)	遊佐高校	6月16日(木)

※酒田管内の高校の投票日に関しては、担当の先生の指示に従って下さい。

遊佐町少年町長立候補者



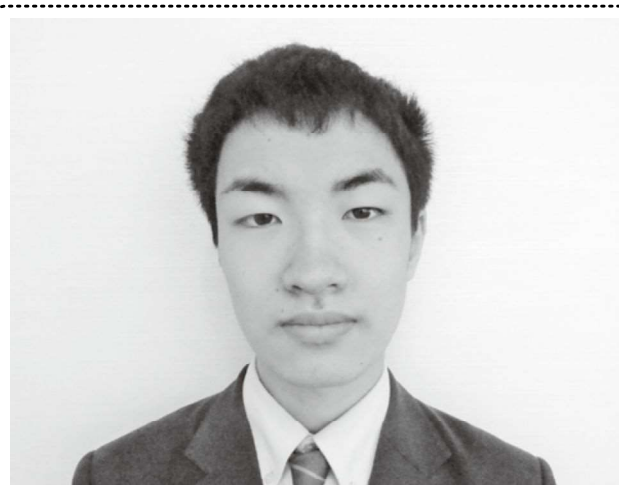
遊佐高校3年

(地区●遊佐)

あんどう きしよ

安藤 希祥

私は今期の活動で、過去の2度の参加経験を活かし、この遊佐町をより良いものになりたいと考えています。具体的に、今期は「特産品づくり」「中高生の学習スペース作り」の達成を目指して活動していきます！よろしくお願いします！



羽黒高校3年

(地区●高瀬)

さとう るい

佐藤 塁

中学1年生からの5年間、少年議員、少年町長として、遊佐町や若者のために考え、たくさんの経験をしてきました。今年度は私が少年議会に参加できる最後の年です。今までの経験を活かし、新しいことに積極的に挑戦しますので、よろしくお願いします。

遊佐町少年議員・立候補者



遊佐中学校 1年 (地区●西遊佐)

えんた まなか

遠田 愛果

私は遊佐町が大好きなので、遊佐町の良い所をもっと知りたいと思ひ、またそれを多くの人に伝えていきたいと思ひています。遊佐町をよりよく、住みやすい町にしていきたいです。



遊佐中学校 1年 (地区●高瀬)

すがわら みそら

菅原 未宇

たくさんの魅力がある遊佐町の良いところをたくさん発信していきたいです。先輩方と真剣に、楽しく活動していきたいです。



遊佐中学校 2年 (地区●高瀬)

さとう ひろと

佐藤 大斗

僕は、少年議員になったら遊佐町のためになること、例えば、遊佐カレーに続く新しい遊佐のグルメの開発をしたいと考えています。勉強と運動の両立しつつ、少年議会にも積極的に参加したいと思ひますのでよろしくお願ひします。



遊佐中学校 3年 (地区●高瀬)

さいとう ひかり

齋藤妃花里

私は今期で3期目の参加になります。今季実現したいことは、各地区にスタディスペースを設けることです。現在図書館内にスタディスペースはありますが、町内に住んでいる子どもたちの移動手段を考えると、みんなが利用しやすい場所ではないと思ひます。私は今期もこのように子供たちの生の声を遊佐町の行政に反映させられるような活動をしていきたいと思ひます。



遊佐中学校 3年 (地区●高瀬)

さとう かえで

佐藤 楓

私は中学1年生の頃、一度少年事務局として所属し、遊佐町をより良い町に、より住みやすい町にできるよう、活動していました。今年、中学3年生になり、2年前よりも成長したため、また町のために自分の力を発揮したいと思ひ、今回少年議員に立候補しました。前回以上にみんなが町を好きになれるよう、活動に励んでいきたいと思ひています。



遊佐中学校 3年 (地区●遊佐)

やくち りせい

矢口 理正

中学校最後の年にして、進路によっては遊佐を離れてしまうかもしれない今、遊佐にしかないことで遊佐に恩返しをしたく立候補しました。私は少年議員として、この少年議会という独自性を活かしてこの町をより良くするという考えを持って活動していきたいと思ひます。



遊佐高校 1年 (地区●遊佐)

なかがわ うたの

中川 詩野

私は遊佐町に来て、たくさんの魅力を感じました。人の温かさ、自然の豊かさ、お米やお水の美味しさなど。私は少年議員になって、それを多くの人たちに伝える活動をしたいです。また、私自身のこの活動を通して、もっと遊佐町の魅力をみつけていきたいです！



遊佐高校 2年 (地区●藤岡)

いけだ かれん

池田 花恋

昨年はかるた作りをしたので、今年のはかるたの大会など、遊佐町民の方々を楽しめる企画を出したいと考えています。コロナ禍の中、限られた範囲で自分たちに出来ることは何かをしっかりと考えていきたいと思ひます。遊佐町の人たちが笑顔で過ごせるような企画を少年議会で話し合いたいと思ひます。



酒田南高校 2年 (地区●高瀬)

いけだ りょうと

池田 涼人

私は今期で4期目の参加になります。遊佐町の課題を解決し、みんなが住みやすいような遊佐町を造ってきたいです。



遊佐高校 2年 (地区●遊佐)

かたやま さくら

片山 櫻

私が今期やりたいこととして、昨年の町議員さんとの意見交換会で出た案を今期の政策に取り入れることと、昨年に引き続き特産品開発を行い完成させることがあります。昨年少年議員に参加していたのでその時の反省を活かし、さらに有意義な話し合いをして遊佐町のためになるよう活動したいと思ひます。



酒田東高校 2年 (地区●高瀬)

さとう りお

佐藤 里桜

私は町づくりや地域の活性に興味があつて立候補しました。今までは生まれ育った遊佐町のことをあまり知らなかったのですが、この機会に遊佐町の魅力を見つけて、多くの人に知ってもらえるような活動をしたいと思ひます。初めての立候補ですが、自分にできることを精一杯頑張りたいと思ひます。

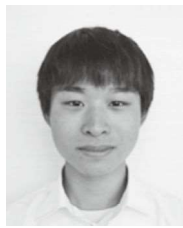


遊佐高校 2年 (地区●遊佐)

まつした じゅん

松下 潤

地域みらい留学で千葉県から来ました。遊佐高等学校2年生の松下潤です。昨年少年議会で学んだこと、活動を振り返り、今期の少年議会に貢献したいと思ひています。よろしくお願ひします。



酒田東高校 3年 (地区●高瀬)

おた はる

太田 英遙

昨年度、少年議員として町の為の話し合いに参加したり、活動を行ったりと遊佐町に対して知見を深めることができました。その知見を活かし、本年度も少年議員として遊佐町をよりよく出来るように活動していきたいです。



遊佐高校 3年 (地区●象潟)

かなざわ そあ

金澤 空蒼

私は遊佐の自然や食べ物などを全国の人に知ってもらえるような活動を頑張りたいです。遊佐町のために、私はどんなことができるか考えて活動したいと思ひます。他の少年議員の人と協力して頑張りたいです。



酒田光陵高校 3年 (地区●高瀬)

すがわら さき

菅原 彩希

私は遊佐町が大好きです。遊佐町をもっと活性化していきたいと思ひ立候補しました。遊佐町をよりよくするのはもちろんですが、私は学校で庄内の郷土料理を盛り上げるための活動をしているので、遊佐町の特産物をたくさん町内、町外の人に知ってもらいたいと思ひています。よろしくお願ひします。



酒田光陵高校 3年 (地区●藤岡)

すずき しの

鈴木 詩乃

前期に議長を務めており、今期で2度目の参加になります。遊佐町の現状に理解を深め、今何が求められているのかを、討議を通してよく吟味し、遊佐町の魅力を発信していきます。自分たちが暮らすまちの楽しみ方を探求していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



遊佐町少年町長・ 少年議会広報



明日の遊佐町に、ほくたちは、わたしたちは、提案します

第20期少年町長・副町長・議員・監査・事務局長・事務局次長など
議会構成のお知らせ

※各立候補者の選挙後に確定した役職のみを公開致します。
得票数の公開は致しませんので、ご了承ください。

遊佐町少年町長・副町長

少年町長



羽黒高校3年

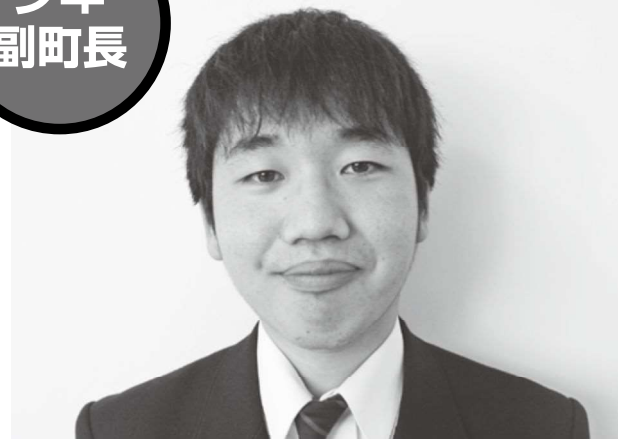
(地区●高瀬)

さとう るい

佐藤 塁

6年目で最後の年である今年度は、新たに2つのことに挑戦したいと考えています。1つ目は高齢者の方が、もっとスマートフォンを使いこなせるような講習会を開きたいということ。もう一つは、遊佐町の中高生に、今遊佐町で起きていることを知ってもらえるような場を作っていきたいと考えています。全員で目標に向かって頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

少年
副町長



遊佐高校3年

(地区●遊佐)

あんどう きしょう

安藤 希祥

今年度は昨年の政策で商品化できなかった特産品づくりと、昨年開催できなかったゆざっこかるたを使ったイベントを開催したいと考えています。また、個人的な目標として、少年議会としての活動では広い視野をもっていきたいと思います。最後の一年、よろしくお願いします。

◎少年町長・少年議員の活動内容は、遊佐町HPからご覧になれます!!

<http://www.town.yuza.yamagata.jp/>

●遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局 ●遊佐町教育委員会教育課社会教育係

〒999-8301 遊佐町遊佐字鶴田52-2 遊佐町生涯学習センター内

Tel.0234-72-2236 Fax.0234-71-1222 Mail.youthgikai@town.yuza.lg.jp

遊佐町少年議員



遊佐中学校 1年 (地区●西遊佐)

えんた まなか

遠田 愛果

私は遊佐町が大好きなので、遊佐町の良い所をもっと知りたいと思ひ、またそれを多くの人に伝えていきたいと思っています。少年議会のみんなで遊佐町をよりよく、住みやすい町にしていきたいです。



遊佐中学校 2年 (地区●高瀬)

さとう ひろと

佐藤 大斗

僕は、少年議員になったら遊佐町のためになること、例えば、遊佐カレーに続く新しい遊佐のグルメの開発をしたいと考えています。勉強と部活動の両立をしつつ、少年議会にも積極的に参加したいと思っていますのでよろしくをお願いします。



遊佐中学校 3年 (地区●高瀬)

さいとう ひかり

齋藤妃花里

今期実現したいことは、各地区にスタディスペースを設けることです。現在図書館内にスタディスペースはありますが、町内に住んでいる子どもたちの移動手段を考えると、みんなが利用しやすい場所ではないように思っています。私は今期もこのように子供たちの生の声を遊佐町の行政に反映させられるような活動をしていきたいと思っています。

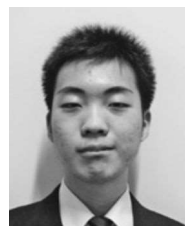


遊佐中学校 3年 (地区●高瀬)

さとう かえで

佐藤 楓

遊佐町をより良い町に、より住みやすい町にできるよう、活動していきたいと思っています。なかなか表には出てきませんが、学生はもったいなくなったら良いのという声をたくさん持っています。学生の声を聞き、寄り添った活動していきたいと思っています。



遊佐中学校 3年 (地区●遊佐)

やぐち りせい

矢口 理正

中学校最後の年にして、進路によっては遊佐を離れてしまうかもしれない今、遊佐にしかないことで遊佐に恩返しをしたく立候補しました。私は少年議員として、この少年議会という独自性を活かしてこの町をより良くするという考えを持って活動していきたいと思っています。



酒田南高校 2年 (地区●高瀬)

いけだ りょうと

池田 涼人

私は今期で4期目の参加になります。「活気のある遊佐町」を作っていきたいと考えており、そのためにできることはないか、一緒に活動するみんなで話し合っていきたいと思っています。



酒田東高校 2年 (地区●高瀬)

さとう りお

佐藤 里桜

私は町づくりや地域の活性化に興味があって立候補しました。今までは生まれ育った遊佐町のことをあまり知らなかったのですが、この機会に遊佐町の魅力を見つけて、多くの人に知ってもらえるような活動をしたと思います。中でも遊佐町の伝統をもっと広める活動をしたと考えています。

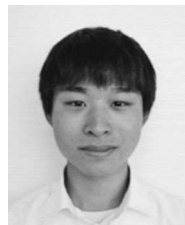


遊佐高校 2年 (地区●遊佐)

まつた じゅん

松下 潤

昨年少年議会で学んだこと、活動を振り返り、できなかったことや改善できたことがあるように思います。それを今期の少年議会で貢献したいと思っています。よろしくをお願いします。



酒田東高校 3年 (地区●高瀬)

おた はる

太田 英遙

昨年度の活動を通して、本年度も少年議員として遊佐町をよりよく出来るように活動していきたいです。昨年も遊佐町の知名度を上げるという目的のうえで特産品開発を行いました。今年も人を呼び込んでいけるような活動を行っていきたいと思っています。



酒田光陵高校 3年 (地区●蔵岡)

すずき しの

鈴木 詩乃

遊佐町の現状に理解を深め、今何が求められているのかを、討論を通してよく吟味し、遊佐町の魅力を発信していきます。自分たちが暮らすまちの楽しみ方を探求していきたいと思っています。よろしくをお願いします。



遊佐高校 3年 (地区●象瀬)

かなざわ そあ

金澤 空蒼

私は全世代の方が楽しんで参加できるようなイベントを少年議会で開催したいと考えています。そのために、私自身はどんなことができるかを考えて活動したいと思っています。他の少年議員の人と協力して頑張りたいです。



酒田光陵高校 3年 (地区●高瀬)

すがわら さき

菅原 彩希

私は学校で庄内の郷土料理を盛り上げるための活動をしています。まだ知られていない遊佐町の名産品や特産品をたくさん町内、町外の人に知ってもらいたいと思っています。よろしくをお願いします。



遊佐高校 2年 (地区●蔵岡)

いけだ かれん

池田 花恋

昨年はかるた作りをしたので、今年のはかるたの大会など、遊佐町民の方々が楽しめる企画を出したいと考えています。コロナ禍の中、限られた範囲で自分たちに出来ることは何かをしっかりと考えていきたいと思っています。遊佐町の人たちが笑顔で過ごせるような企画を少年議会で話し合いたいと思っています。



遊佐中学校 1年 (地区●高瀬)

すがわら みそら

菅原 未宇

たくさんの魅力がある遊佐町の良いところをたくさん発信していきたいです。私は人と人とのつながりを大切にしていきたいです。先輩方と真剣に、楽しく活動していきたいと思っています。よろしくをお願いします。



遊佐高校 1年 (地区●遊佐)

なかがわ うたの

中川 詩野

私は遊佐町に来て、たくさんの魅力を感じました。人の温かさ、自然の豊かさ、お米やお水の美味しさなど。私は少年議員になって、それを多くの人たちに伝える活動をしたいです。また、私自身この活動を通して、もっと遊佐町の魅力をつまみつけていきたいです！



遊佐高校 2年 (地区●遊佐)

かたやま さくら

片山 櫻

昨年の町議員さんとの意見交換会で出た案を今期の政策に取り入れること、昨年に引き続き特産品開発を行い完成させたいと思っています。昨年少年議員に参加していたのでその時の反省を活かし、さらに有意義な話し合いをして遊佐町のためになるよう活動していきたいと思っています。

第 20 期 少年議会メンバー

少年町長

1.	佐藤 壘 (さとう るい)	男	羽黒高等学校 3 年	高瀬
----	---------------	---	------------	----

少年副町長

1.	安藤 希祥 (あんどう きしょう)	男	遊佐高等学校 3 年	遊佐
----	-------------------	---	------------	----

少年議員

1.	遠田 愛果 (えんた まなか)	女	遊佐中学校 1 年	西遊佐
2.	佐藤 大斗 (さとう ひろと)	男	遊佐中学校 2 年	高瀬
3.	齋藤 妃花里 (さいとう ひかり)	女	遊佐中学校 3 年	高瀬
4.	佐藤 楓 (さとう かえで)	女	遊佐中学校 3 年	高瀬
5.	矢口 理正 (やぐち りせい)	男	遊佐中学校 3 年	遊佐
6.	池田 涼人 (いけだ りょうと)	男	酒田南高等学校 2 年	高瀬
7.	佐藤 里桜 (さとう りお)	女	酒田東高等学校 2 年	高瀬
8.	松下 潤 (まつした じゅん)	男	遊佐高等学校 2 年	遊佐
9.	太田 英遙 (おおた はる)	男	酒田東高等学校 3 年	高瀬
10.	鈴木 詩乃 (すずき しの)	女	酒田光陵高等学校 3 年	蕨岡

少年監査

1.	金澤 空蒼 (かなざわ そあ)	男	遊佐高等学校 3 年	象潟
2.	菅原 彩希 (すがわら さき)	女	酒田光陵高等学校 3 年	高瀬

少年事務局長

1.	池田 花恋 (いけだ かれん)	女	遊佐高等学校 2 年	蕨岡
----	-----------------	---	------------	----

少年事務局次長

1.	菅原 未宇 (すがわら みそら)	女	遊佐中学校 1 年	高瀬
2.	中川 詩野 (なかがわ うたの)	女	遊佐高等学校 1 年	遊佐
3.	片山 櫻 (かたやま さくら)	女	遊佐高等学校 2 年	遊佐

遊佐町少年議会 アンケート

遊佐町のこれからのまちづくりのために、中学生・高校生のみなさんの考えをお寄せ下さい！
少年町長・少年議員にあなたの意見をとどけましょう！

1-1. 遊佐町にどんな町になってほしいですか？

例) ○○な町、△△がある町 など



2-1. 遊佐町は若者の想いや声を取り入れたまちづくりをしていると思いますか？

- ・とても思う
- ・思う
- ・あまり思わない
- ・思わない



2-2. そのように思った理由があればご記入下さい。



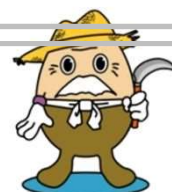
3-1. あなたは今までの少年議会の活動について何か知っていますか？

- ・知っている
- ・知らない

3-2. 「知っている」と答えた人にお尋ねします。どの活動が一番印象に残っていますか？

少年議会に何をしてほしいですか？

4-1. 遊佐町で行ってほしいイベントはありますか？



4-2. 遊佐町につくってほしいものはありますか？

4-3. 少年議会と一緒に活動してみたいことはありますか？



☺ご協力ありがとうございました。

☺今後の少年議会の活動に、ご協力と応援をお願いいたします。

第20期少年議会アンケート集計

1-1. 遊佐町にどんな町になってほしいですか？

1-1	内容
活気のある町	人との関わりの深い町
若者の多い町	都会
今のままがいい	平和な町
ご飯が美味しい町	住みやすい町
きれいな町	伝統が多い町
輝ける町	意見を実現できる町

2-1. 遊佐町は若者の想いや声を取り入れたまちづくりをしていると思いますか？（あてはまるものに○をつけてください。）

2-1	票数	割合
とても思う	132	26%
思う	222	46%
あまり思わない	106	22%
思わない	29	6%

2-2. そのように思った理由があればお答えください

2-2	内容
とても思う	若い人の意見を議会が取り入れてくれている
思う	少年議会関連、スタディスペース、医療費
あまり思わない	若者の意見が反映されていないと感じる
思わない	わからない、変化がない

3-1. あなたは今までの少年議会の活動について何か知っていますか？

3-1	票数	割合
知っている	138	33%
知らない	278	67%

3-2. 「知っている」と答えた人にお尋ねします。どの活動が一番印象に残っていますか？

3-2	票数
手作りベンチ	38
米～ちゃん	21
ゆざっこかるた	17
町議員と対談	6
町体の階段	4
くじらとの意見交換会	3
鈴木福くんと対談	3
遊佐カレー	2
駅前では何かしていた	1

4-1. 遊佐町で行ってほしいイベントはありますか？

4-1	票数	内容
祭	81	祭、ツーデーマーチ、何かのイベント
花火	15	
交流会	10	
音楽フェス	5	有名人がくる、プロが来る
ゲーム大会	4	
その他	各1票 計15票	滝行、清掃、フリマ、ロードレース、フードフェス、鬼ごっこ、名産品のPR、文化を祝う企画、スタンプラリー、空き家利用、スイーツイベント、有名人を呼ぶ、地域おこし、植林、こども保育

4-2. 遊佐町につくってほしいものはありますか？

4-2	票数	内容
お店	136	カフェ、コンビニ、カラオケ、アニメイト、ゲームセンター、遊園地、駄菓子屋、映画館、イオン、百均、CDショップ、アパレルショップ、図書館、マック、アイドルショップなど
遊べる場所	78	公園、スポーツ場、ライブ会場、憩いの場、アスレチック、ダンススタジオ、駅ピアノ、遊ぶ場所、プリクラ、キャンプ場、若い人が集まる場所、ポケモン

勉強場所	13	学習スペース
映えスポット	8	ベンチ・椅子、観光スポット、駅前を豊かに、シンボル
街灯	3	
特産品	3	
その他	各 1 票 計 7 票	保護動物シェルター、橋、田んぼアート、ウーバーイーツ、町内を回る電車、病院、藤棚

4-3. 少年議会と一緒に活動してみたいことはありますか？

4-3	票数	内容
ゴミ拾い	16	海岸清掃
ボランティア	16	中高生ボランティアサークル「くじら」との活動
イベント	4	
その他	各 1 票 計 13 票	鬼ごっこ、ツーデーマーチ、花だん、漁業、祭、PR 活動、イベント、商品開発、ワークショップ、交流会、笹巻作り、アンケート、レク

第20期少年議会 一般質問(町への要望)・政策提言

施政方針：魅力発掘～ココロオドルまちづくり～

役職	氏名	内容区分	内容主旨
少年町長	佐藤 壘	一般質問 (町への要望)	遊佐町の未来を担う若者の勉強会について
少年議員	矢口 理正		
少年議員	佐藤 里桜		
少年事務局長	池田 花恋		
少年副議長	松下 潤		スクールバスの増便について
少年議員	佐藤 大斗		
少年議員	太田 英遙		
少年議長	鈴木 詩乃		小学校統合による空き校舎の利活用方法について
少年議員	遠田 愛果		
少年議員	齋藤 妃花里		
少年事務局次長	片山 櫻		
少年議員	佐藤 楓	少年議会独自の 政策提言	遊佐マルシェについて
少年議員	池田 涼人		
少年事務局次長	中川 詩野		
少年副町長	安藤 希祥	少年議会独自の 政策提言	遊佐町の特産品について
少年事務局次長	菅原 未宇		
少年監査	金澤 空蒼		
少年監査	菅原 彩希		

少年議会

政策 提言



【 施政方針・一般質問・政策提言 】

令和 4 年 8 月 23 日 (火) 第 2 回少年議会

施政方針

少年町長 佐藤 塁

「魅力発掘～ココロオドル町づくり～」

第 2 回少年議会を開催するにあたり、施政方針を申し上げます。

第 1 回少年議会以降、全員協議会を開催し、「遊佐町少年議会アンケート」として行った若者の意見調査の集約結果などをもとに、今期の活動目標・活動内容を協議してきました。

その結果を踏まえ、第 20 期少年議会では、「魅力発掘～ココロオドルまちづくり～」をコンセプトとして、活動していきます。

アンケートでは、遊佐町にどんな町になってほしいか？という質問に対して、「活気のある町」、「伝統の多い町」という意見がありました。遊佐町は若者の想いや声を取り入れたまちづくりをしていると思いますかという質問では、「とても思う」、「思う」と回答した人が全体の約 72%いました。また、遊佐町少年議会の今までの活動内容を知っていると答えた人は、全体の 33%しかいませんでした。これはまだまだ少年議会の周知が足りていないということが分かる結果でした。

そこで、第 20 期少年議会では、自分たちの暮らす遊佐町を私たち若者が暮らしやすい町にする為、遊佐町の若者代表として活動し、少しでも若者の目指す遊佐町に近づくため、少年議会らしい「まちづくり」を行っていきます。

また、今年度、少年議会は第 20 期を迎えました。歴代の少年町長・少年議員の活動を振り返り、意思を引き継ぎながら、新しい活動も検討していきます。少年議会の活動は、町民の皆さんと有権者の中高生のご理解やご協力がなくては進めることはできません。皆さんと力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

以上を、今年度少年議会の施政方針とします。

少年議長 鈴木 詩乃

少年議長の鈴木詩乃です。私は「小学校統合に伴う空き校舎の利活用方法」について要望します。

校舎の利活用にあたり、私は屋内ではなく屋外に着目して考えてみました。例えばバーベキュースペースの設営です。ベランダを利用できる校舎では、「バーベキューテラス」として活用すると、さらにワンランク上のレジャーとして活用できると思います。バーベキュースペースを提案したい理由として、各学校には調理が出来る給食用の調理準備室や家庭科室があり、食材の衛星上の管理も可能です。また、完全予約制にすることで、管理も難しいものにはならないと思います。熱中症対策や、悪天候の際には屋内でも家族や友人と一緒に料理をすることもできると思います。

次に夏祭りイベントの開催を提案したいと思います。現在町のイベントとして行われているのが、花火大会や盆踊り大会などがあると思います。今のご時世では難しいかもしれませんが、各学区での特色を出した夏祭りを開催するのはどうかなと思いました。各学校の校歌を歌うなど、それぞれの地区で伝統的なイベントになれば良いと思っています。

以上のことから私は、屋外で大人から子どもまでが共に楽しめる場所を設けてもらうこと、これからも子どもたちが健やかに育っていける町づくり、町施設の運営をしてもらえることを要望します。

少年議員 遠田 愛果

私は少年議員の遊佐中学校1年の遠田愛果です。私は「統合に伴う空き校舎の利活用方法」について要望します。特に、有効的に利用できる場所にしたいと思っています。

まず学生には勉強をするスタディスペースが必要だと思いました。中学校で、「主体的に家庭学習に取り組んでいるか」というアンケートに対し、約22%の人しか主体的に取り組んでいませんでした。家の近くに勉強をする場所があると友達とも一緒に勉強することができます。また、学校なので体育館やグラウンドなどで遊んで気分転換することもできることもです。

また、常に一部屋をスタディスペースとして開放するのではなく、休日や長期休みなど必要なタイミングでスタディスペースとして開放したり、行事やイベントの際には、みんな楽しく使える場所にしたいと思いました。

その他に、作れるならレンタルスペースやサウナなど幅広い年齢の人たちに活用してもらえるようなレジャー施設にするのも良いと思います。そうすることで、地域の人以外にも気軽に利用してもらえるようになると思います。

以上のことから、空き校舎を有効的に利活用すること、そしてスタディスペースの設置を要望します。

一般質問

少年議員 齋藤 妃花里

私は少年議員の遊佐中学校3年生の齋藤妃花里です。私は、小学校統合に伴う空き校舎の活用方法について要望したいことがあります。

みなさんもお存知だと思いますが、現在遊佐町にある五つの小学校は、生徒数の減少によって、来年、令和五年度に一つの小学校に統合されます。ですが、その空き校舎になってしまう四校はどれもまだ新しく綺麗な校舎です。このまま使われなくなってしまうのはとてももったいないと思うばかりです。

そこで、私たちが考えた空き校舎の活用方法の例を挙げたいと思います。

それは、利用者を主に観光客とした廃校宿泊施設です。廃校を活用した宿泊施設のメリットとして校舎を活かしてリノベーションすることで初期費用を抑えることができることや、各地区にある小学校を利用することで町を良く知ってもらうための効果が期待できることなどが考えられます。しかも、私の母校である高瀬小学校は目の前に大きく鳥海山が見えるので、美しい自然を間近に感じながら宿泊するには最高のロケーションだと思います。

私はコロナ禍を機に旅行の在り方、楽しみ方が変わったように感じています。そんな今だからこそ、空き校舎を利用した宿泊施設は、その地域の趣を感じられる場所として注目を集めることができると思います。遊佐町の他にはない自然環境やグルメを体験してもらったり、地域住民と触れ合うイベントを企画すれば、遊佐町を思いきり楽しみたい旅行者や、遊佐町をもっと知りたい短期滞在者などを呼び込むには適した宿泊施設となり、山形県の新しい話題になると思います。

以上のことから、私は小学校統合に伴う空き校舎活用方法について要望します。

一般質問

少年事務局次長 片山 櫻

私は少年事務局次長の遊佐高校2年生の片山櫻です。私は、小学校の合併により空き校舎となる校舎の活用について要望したいと思っています。使われなくなってしまう小学校は誰かの思い出の場所でもあるし、取り壊すよりも何か他の形で使うことで残していけたら素敵なのではと考えました。

まず、どのように使えば良いかを町民みんなで考える機会があればと思っています。小学校が廃校になることは遊佐町の大きな変化になると思います。学生や大人の町民の皆さんにアンケートをするなどして一緒に考えられたら良いと思います。

その中でも、私が良いと思ったことは宿泊施設とスタディスペースの設置です。

1つ目の宿泊施設は、町外の人達を呼び込むことにも繋がると思います。また、町民の方には思い出の場所にまた立ち寄ってもらえるように、町民割引もあればさらに利用客も増えると思います。学校に泊まるという体験はとても面白いものになると思います。音楽室や体育館など特別教室は用途別にしその特色が活かされれば良いのではないかと考えています。

2つ目のスタディスペースは、学校は勉強の環境が整っていて自習室にぴったりだと感じました。昨年の町議員さんとの意見交換会で中高生の居場所としてスタディスペースの話し合いも行われていたので、それが実現できる機会でもあると思います。中高生の居場所が増え

ることで子育てしやすい町作りにも繋がるので利活用方法の1つとして提案したいと思います。

以上のことから、私はこのような空き校舎の利活用方法を要望します。町民の思い出の場所を守り更なる発展ができることを期待しています。

一 般 質 問

少年副議長 松下 潤

私は少年議員の遊佐高校2年生の松下潤です。私は町に遊佐のバスの増便について町に要望したいとおもいます。

私は遊佐町の交通の便はすごく不便で観光しにくいと感じています。特にこの車社会で、車を持っていない若者や高齢者は、公共交通機関などに頼らざるをえず、酒田や県外からは1日に10本ほどの電車に乗って遊佐に来ないといけなく、また遊佐町の人も鳥海山や吹浦などに行くには、自転車や数少ないバスや電車などに乗り継いで行かないといけません。遊佐町が本気で県外や県内から人を呼び込むには遊佐町を循環する便や遊佐酒田間などのバスが必要だと私は思います。

若い人たちが遊佐を出て、関東などの都心に行きたがるのは遊ぶ場所があるのもありますが、それらの場所にアクセスしやすいこともあると思います。遊佐町が若者にも住みやすい様な町にするため、遊佐町のバスの増便を要望します。

一 般 質 問

少年議員 佐藤 大斗

僕は遊佐中学校二年生の佐藤大斗です。僕たち少年議会は、遊佐のスクールバスの増便を要望します。

僕は今のバスの便について不便と感ずることがあります。町民が誰でも利用できる遊佐町のバスなのに、ほとんどが通学目的で利用されています。せっかく町内全域を通っているので、遠くに住んでいる友達に遊びに行く時や、町内から遠い地区に住んでいる高齢者が町内への買い物のために利用するなど、今よりも多くの人が使っていけるようになれば良いと思いました。しかし、今の運行状況では利用したい人が使いにくいと思いました。

そこで、休日の全路線で13時半あたりに新しい便を作って欲しいと思いました。昼前の便と昼の後の便があることで、自転車や徒歩では到底行くのが難しい遊佐町の地域にも遊びに行くことができ、高齢者は町内のお店への買い物の行き帰りにも利用しやすくなると思います。

これらのことから、休日の全路線の13時半頃の増便を要望します。

一 般 質 問

少年議員 太田 英遙

私は少年議員の酒田東高校3年生の太田英遙です。私はバスの増便について要望させて頂

きます。

私もお世話になった、遊佐中学校から遠い生徒などが利用するスクールバスですが、一般の方も利用でき、例でいえば、運転ができないご高齢の方を、私が利用していたころはよく見かけていました。しかし、便の数は多いとはいえません。考えられる理由としては、町内の広い全ての地区を回らなければいけないことがあるとは思いますが、正午あたりの上りの便がないため、その時間帯に利用したいという方は厳しいと感じました。

そこで、町民にアンケートを実施し、利用するかどうか、どの時間帯が利用しやすいか、また望んでいるかを把握したうえで、ニーズに合わせた増便を検討していただけたらと考えました。休日のバスの運行についても加味していただき、要望とさせていただきます。ご検討のほど、よろしくお願いいたします。

一 般 質 問

少年町長 佐藤 壘

私は少年町長の佐藤壘です。今期、私は中高生に向けた「遊佐町における問題・課題」についての勉強会を要望します。

現在、全国的に若者の政治的関心や地域課題への関心が低いと言われており、遊佐町の若者にも同じことが言えると思います。私が友達に政治に関する話をしても、友達は興味がないということも多いことからそう感じました。

しかし私は、自分の住んでいる町について、いまどんなことが起こっているかを、しっかり知っておくべきだと考えます。例えば、現在遊佐沖に計画されている洋上風力発電設置についてや、臂曲地区の岩石採取問題など、遊佐町にも若者が知っておくべき事象や、問題となりうるものが多々あると考えます。

そこで私は、こういったことに関心が薄くなりがちな中高生達にも知ることができる機会を作って欲しいと思いました。各学校の「総合的な学習の時間」などで講義をしてもらい、遊佐町で起こっていることと向き合ってもらいたいと考えています。このような機会を設けることで、若者は地域の課題について関心を持ち、政治は自分たちの人生に密接に関わっているということを実感し、将来的に投票率の向上にもつながるのではないかと考えました。

以上のことから、「遊佐町における問題・課題」についての勉強会を要望します。遊佐町の未来を担う若者のために、よろしくお願いいたします。

一 般 質 問

少年議員 矢口 理正

私は少年議員の遊佐中学校3年生の矢口理正です。今期遊佐町に要望することは、遊佐の未来を担う若者への勉強会です。なぜそれが必要かという、いつか遊佐を担うことになる私たちは、今の遊佐町でどのようなことが起きているのかを正しく知る必要があると考えたからです。

私たちが実際に大人になったときに、選挙等に行くことになると思います。そのときに、遊佐で何が起きているのか、何が必要で、課題なのかを断片的にでも知っていないと賛成することも反対することもできません。そこで、講師の方を学校にお招きし、講義をしていた

だくことで公平な知識を身に付けることができると思います。

以上のことから、私は遊佐の未来を担う若者への勉強会を要望します。

一般質問

少年議員 佐藤 里桜

私は少年議員の酒田東高校2年生の佐藤里桜です。私が今期、遊佐町に要望するのは、中高生を対象とした遊佐町で起こっていることを知ってもらう勉強会を開催することです。

この要望を提出した理由としては、岩石採取問題や、洋上風力発電の設置などの内容について、知っている中高生が少ないと感じているからです。洋上風力発電に関する住民説明会は何度か開催されていますが、全世代が対象となっており、中高生で興味があってもなかなか行きづらさを感じてしまう人がいると考えられます。そもそも、これからの遊佐町を担っていく若者が、遊佐町の現状を知らないでいるのは問題だと考えます。

勉強会の方法としては、学校に講師の方をお招きして講演をしていただく、または中高生が生涯学習センターにきて、講演を開くというのが良いと考えています。

以上のことから私は、中高生を対象にした今の遊佐町の現状について知る勉強会の機会を設けることを要望します。未来を担う若者へ、学習の機会を作ってほしいです。よろしくお願いいたします。

一般質問

少年事務局長 池田 花恋

私は少年事務局長の池田花恋です。今期私は、遊佐の未来を担う若者の勉強会を要望します。

初めに質問したいと思います。今の遊佐町でどんな事が起こっているか、若者たちの中で知っている人はどのくらいいるのでしょうか。遊佐町には少年議会やジオパークを始めとした自然保護など良いところ、誇れるところはたくさんあります。しかし、岩石採取問題の結果や洋上風力発電の設置のメリット・デメリットをどのくらいの若者が知っているのでしょうか。実際私も名前を知っている程度の認識でした。果たしてこのままで良いのでしょうか。

授業でも、遊佐町の自然の保護について触れる機会もあり、有名なスポットにも行くことはありました。しかし、どの記憶を辿っても遊佐町の課題や問題は高齢化や人口減少しか思い浮かべることが出来ません。ありきたりな回答しかできません。それはなぜか。選挙が近くなると、「若者の政治離れ」が叫ばれていますが、それは知ろうとしないことや意識の低さが原因として挙げられると思います。今の状況に満足や妥協を重ね、何も変わらないから、どうせよく分からないという理由から諦めてしまいます。

そのためにも、学校の総合学習の時間、探求の時間を使い、遊佐の最近のニュースを扱ってもらい、自ら学ばせることで自分の考え方を持ってもらうことに繋がると 생각합니다。

以上のことから、私は未来を担う若者への勉強会を要望します。

政策提言

少年議員 佐藤 楓

私は少年議員の遊佐町立遊佐中学校3年生の佐藤楓です。今年度、少年議会では政策として遊佐マルシェ、つまり市場を開催することを考えています。

理由としては、この遊佐マルシェを通して若者に遊佐町の魅力を発見して欲しいからです。色々な遊佐町にまつわるものに触れられれば遊佐町にはこんなものがあつたのか…と新たな気づきにつながります。具体的にマルシェでは野菜などの名産品や地域の方が作ったアクセサリー、それに加えて少年議会で取り組んでいる特産品も売ったり、ステージを作りそこで吹奏楽部や地元のダンスチームにパフォーマンスをしてもらったりすることを考えています。ターゲットは若い人、小学生を含めて入れ、親子で楽しめるイベントを開催してより多くの人にマルシェを楽しんでもらうようにします。

この遊佐マルシェで施政方針の魅力発掘ココロオドル町づくりにもある通りどんどん知らなかった遊佐町の魅力であつたり良さであつたりを見つけていって貰うため工夫を凝らし、精一杯頑張ります。よろしくをお願いします。

政策提言

少年議員 池田 涼人

私は、少年議員の酒田南高校二年生の池田涼人です。今回私がしたい政策は遊佐マルシェです。理由は遊佐町に住んでいる若者が改めて遊佐町の魅力を知ってもらいたいと思ったからです。

そもそもマルシェとは、フランス語でスーパーマーケットの意味で、イメージは小さい市場のようなものです。取り扱っているものは、生鮮食品や特産品から雑貨やアクセサリーなど多くあります。遊佐町は食の宝庫で、伝統工芸品も多くあり、マルシェとはとても相性が良いと思いました。

私の理想のマルシェは広い公園を使い、若い年代を巻き込むことができるものです。例えば遊佐町のアクセサリーや小物をつくる職人と一緒にアクセサリーを作る体験をできたり、地元のダンスチームにステージで踊ってもらうなどすることによって、参加する人も見るだけの人も楽しくなってしまふものです。「自分たちがいた町ってすごかったんだな」と改めて自覚できることが目標です。

以上のことから、今年度は遊佐マルシェを政策に、遊佐町を盛り上げていきたいと思えます。

政策提言

少年事務局次長 中川 詩野

私は遊佐高校1年生の中川詩野です。今回提案する政策は「遊佐マルシェ」です。私が遊佐マルシェをやりたいと思ったのは、遊佐の魅力を多くの人に伝えたい、イベント

を通じて地域を盛り上げたい、と思ったからです。そしてこの遊佐マルシェは、主に遊佐の若者をターゲットにしたいと考えています。

理由の一つは、若者はSNSなどを使うため発信力が高いからです。遊佐の若者に魅力が伝われば、全国に魅力を届けることができるのではないかと考えました。

もう一つの理由は、若者に町の魅力を感じてもらう事が、この町の将来をより良い方向に導くことに繋がると思ったからです。遊佐町では人口減少・流出が、長く問題となっています。そこに良い方向に向かうための鍵があると思います。私は、町をあとにする事が、必ずしも悪いことだとは思いません。それよりも、ふと思い出したとき、また行きたい、帰りたいと思えることが大切なのだと思います。しかし、遊佐の若者の中には、遊佐町の魅力や良さに気づけていない人が少なからず居ます。そういった人達が、そのまま町を離れていってしまう前に魅力に気づくことが出来るようにする。それが、遊佐町が素敵にふるさととして、輝き続けることが出来るのかを左右しています。

私は、遊佐町が魅力あふれる町として、これからも多くの人に愛されるために、遊佐マルシェは必要なイベントだと考えます。

政策提言

少年副町長 安藤 希祥

私は少年副町長の遊佐高校三年安藤希祥です。今期の政策として、特産品開発をしたいと考えています。

遊佐町には名産品は多くありますが、特産品が少ないと感じています。そして、ふらっと鳥海などで売られているものも、ほとんどが遊佐町のお土産ではなく、山形県のお土産となっています。私は駅長さんから、本当は遊佐町のお土産で埋めたいが、作っている企業も少ないためなかなかそうもいかないというお話を聞いたことがあります。遊佐町には誇るべき名産品が多数ありながら、特産品として売り出せていません。これはとても勿体ないことだと思います。そして正直にいうと、現在売られている特産品のほとんどに私は魅力を感じませんでした。なので、今期私たちは、私たちが欲しいと思う、魅力を感じる、そんな特産品を作りたいと考えています。前期の反省を生かし、レシピの開発だけでなく、ポップ作りや包装のデザインなど、できれば既存の特産品の販売促進もできればと考えています。また、遊佐町ブランド推進協議会の方や多方面の方と協力、連携し、今期こそ形として残していきたいと考えています。

そのためにも、議員メンバー内で、どんなものが欲しいと思うのか、また自分たちに何が出来るかなどを協力して考え、実現のため努力していきたいと考えています。

政策提言

少年事務局次長 菅原 未宇

私は遊佐中学校1年の菅原未宇です。今年度の政策として、特産品開発を行います。私は遊佐の魅力をもっと多くの人に伝えていきたいと思っていますが、遊佐の特産品を増やすことにより可能であると考えました。道の駅やスーパーといった地元の店や、ネット販売をすることで誰でも取り寄せることができると、遊佐町について知ることができる機会をさ

らに増やせるのではないかと考えます。

また、少年議会のメンバーで特産品開発について話し合った時、名産品である野菜の話や、特産品として売られている商品の話が出てきました。ですが、私は誰かが言ったもので何それ？と思うものがあったり、逆にみんなが知らないものもあっていました。町内の各地区ではそれぞれ伝統的に作られてきたものがあると思います。

特産品開発によって、遊佐町にはこんなものがあるのかと、魅力を今よりも多くの人に知ってもらえるように活動していきたいと思います。

政策提言

少年監査 金澤 空蒼

私は遊佐高校3年、金澤空蒼です。今期の少年議会の活動では、特産品開発に取り組みたいと考えています。理由は、遊佐町の魅力を伝えたいと思ったからです。

遊佐町にもすでに特産品がありますが、もっと多くの特産品を作ることで、遊佐町の魅力をさらに発信できると思います。遊佐町には道の駅ふらっとやエルパ、グリーンストアなど、町民や観光客が多く利用する施設があります。そういった所で販売することにより、多くの方に知ってもらうことができるのではないかと考えます。

既にパプリカジャムや遊佐カレーがありますが、それに次ぐようなものが未だに現れていないように感じます。昨年の政策を活かして、今年度の政策として頑張っていきたいと思います。

政策提言

少年監査 菅原 彩希

私は酒田光陵高校3年の菅原彩希です。今期の少年議会では遊佐町の魅力を伝えることのできる特産品開発をしたいと考えています。

私は特産品にも地域を活性化させる力があると思います。ですが、遊佐町には水、米、野菜、魚介類などといった名産品がたくさんあるにもかかわらず、特産品が少ないと感じています。私は酒田市の高校に通っていますが、「遊佐には何もないよね」といわれることがあります。そのように思っている人にも、遊佐町にあるたくさんの魅力を伝え、「遊佐に行きたい」と思ってもらいたいです。

具体的な商品としては、遊佐町の名産品を使ったお菓子が良いと思いました。そうすれば、遊佐町の商品が良いと思った方はリピーターとなってくれるからです。姉妹都市であるハンガリーの名産であり、遊佐町でも名産となっているパプリカを使用したものや、庄内柿や庄内砂丘メロンなどのフルーツを使用した乾燥野菜、ドライフルーツなどができると思います。

今期の少年議会では特産品と遊佐マルシェが政策として挙がっています。開発した特産品を遊佐マルシェで販売することができれば、また盛り上がるものだと考えています。中高生で企画して、作った特産品が、遊佐町をさらに活性化させるものにしていきたいと思います。

少年議会

政策 提言



【 第 20 期活動報告・最終提言・次期少年議会に望むこと 】

令和 4 年 12 月 19 日 (月) 第 3 回少年議会

全 体 総 括

少年町長 佐藤 壘

私たち第 20 期少年議会の活動は、6 月 28 日の第 1 回少年議会から始まりました。今期の少年議会活動を行うにあたり、若者(有権者)の意見をアンケートという形で調査しました。結果、遊佐町は若者の思いや声を取り入れたまちづくりをしていると答えた人が全体の約 72%いましたが、少年議会の今までの活動を知っている人は全体の約 32%しかいませんでした。今後さらに有権者にとって印象に残るような活動をする必要があることが分かりました。

第 20 期少年議会では、「魅力発掘～ココロドルまちづくり～」をコンセプトとして活動していきました。この目標の実現に向け活動し、様々な政策を実現しています。ゆぎマルシェでは、生涯学習センターで行われたまるっと遊佐まつりにおいてブースを設けて開催しました。町内 5 つの店舗から出品していただき、用意した商品は全て完売することができました。特産品開発については道の駅ふらっとさんなど特産品を販売している店舗への現地調査を行い、周辺地区ではどんなものが売れているのかを確認できました。また、ふらっとオリジナル商品への提案ができたことで、遊佐町の新たな特産品開発に繋がることを期待しています。

遊佐町少年議会は地域の方々、学校、そして保護者のみなさまからのご理解、ご協力に支えられ多くの政策を実現してきました。学校と少年議会活動との両立が難しく、全員がそろって活動する時間が少なかったなどの課題も残りました。活動を通して新たに出てきた課題については、可能な限り、次期少年議会から引き継いでほしいと思っています。

少年町長 佐藤 罌

私は第 20 期少年町長の佐藤罌です。

今年度の少年議会は例年とは大きく違っていました。人数が 18 人と過去最多ということもありますが、少年議員がより積極性を持っていると感じました。例年以上に少年議員一人一人が自分の意見をしっかり持ち、それを発言しました。これにより、自分では思いつかないような意見を取り入れることができ、今期はより良い少年議会活動となったと感じました。

また、私は来年度以降の少年議会につながるように意識して活動しました。私の少年議会での 6 年間の活動の中で、少年議会における課題、遊佐町における課題、また遊佐町はどのような町かを見てきました。その中で得られた発見には、普通に生活をしていただけでは気づけないようなものも多くあります。例えば、あまり人に知られていないが観光地にできるような場所、小学校における英語教育の課題、中高生向けの施設の不足、不備、若者の政治的関心が薄い問題等があります。このような問題を少年議会で様々な工夫を凝らし解決しようとしてきましたが、まだ完全に解決できたとは言えません。このような課題等があること、課題の見つけ方、また少年議会での活動における心構えなどを今の少年議員に伝えてきました。

これらを活かし来年度以降の少年議会では今を超えるような活動をしてもらいたいと考えています。

これまで 6 年間本当にありがとうございました。

少年副町長 安藤 希祥

私は、少年副町長の安藤希祥です。今期の少年議会では政策として遊佐マルシェや前年に引き続き、特産品開発を行いました。

私は今期の活動を通して、改めて他者と協力し、一つのことに取り組むことの難しさを感じました。今期、私達は遊佐マルシェと特産品開発の 2 つのグループに別れました。そして、私は特産品開発のグループに所属し、活動をしました。また、活動の中でグループに別れながらも、互いが連携し、意見を言い合える場を作ろうと、全員協議会の終わりに互いのグループがその時行ったものなどを共有する時間を設けるなどして活動に入りました。会を重ねてゆくごとに、互いの作り上げているものがわかっていく一方で、グループを分けているがゆえの弊害にも私達は衝突しました。それは、少年議員がそれぞれ持つ、自分たちのゴールがバラバラになってしまったことです。それが故に、最終的に成果として行ったものや、作ったものを楽しかったと感じつつも、「これはやりたかったものではない」と感じたと話していた少年議員が少なからずいたのを私は覚えています。

私は今期で引退となり、来季以降参加することはできませんが、この場に参加している来季以降も議会を引っ張ってしてくれる子たちに、反省がてらアドバイスという形で、今期の反省を残したいと思います。そのアドバイスとは、「目的を意識・共有し、常に未来を想像しよう」です。今までの私の話からでは、「今期の活動は失敗だった」と感じてしまうかもしれませんが、そうではありません。今期の活動が「楽しかった」と思えるものならば、

来季は「みんなが楽しく、胸をはって自分たちが作った！」と言えるものに進化させてほしいと思います。そしてそのためには、先程申し上げたアドバイスが必要になります。目的がわからない、バラバラになっている。そんな状態が続くとどうなるか、皆さんには想像することができると思います。その想像力をぜひ、来期に繋げてください。私は、皆さんにそれができると確信しています。あらゆる状況で未来を想像し、みんなで協力してその未来に進んでいってください。

3年間ではありましたが、ほんとうに貴重な体験をさせていただきました。支えてくださった町の方、議員の皆さん、ほんとうにありがとうございました。長くなってしまいましたが、これで終わります。

議 会 報 告

少年議長 鈴木 詩乃

私は少年議長の酒田光陵高校3年生の鈴木詩乃です。今期の少年議会では、遊佐町のさらなる充実を願って、「ゆざマルシェ」の開催と「特産品開発」を政策として行いました。遊佐町少年議会の有権者を対象にしたアンケートの結果から、有権者の意見を取り入れつつ、また少年議会メンバーの考えも活かせるように協議を重ねました。各メンバーが意見を主張しつつも、協議を重ねることでうまくまとめることができたのではないかと考えています。

今回の活動を通して遊佐町の課題と感じたことは、学生にとって便利な環境とはいえないという所です。人口密度が低い地域ほど、自動車が生活必需品となるモータリゼーション化が進んでいます。高齢化による免許の有無や、免許を持つことができない小中高生からすると、公共交通機関に大きく頼らざるを得ない状況になります。現に、少年議会のアンケートでもバスの増便についての要望があり、少年議会としても町への一般質問として取り上げました。こうした意見は今年初めて出てきた意見ではありません。人手不足等の理由により、対応することが困難であることは重々承知ですが、地域住民のニーズや利用者の実情を確認し、地域における公共交通機関の必要性や一般観光客の利用などへの関わりも含めて十分に検討してもらいたいと感じました。

昨年から少年議長を務めましたが、遊佐高校に通っている地域みらい留学生との交流ができたり、各地域から視察に来られた方からの取材対応、大きな会議にオンラインで出席するなど、普通の高校生活を送るだけでは経験できないような濃い内容だったと感じています。1年間ありがとうございました。

議 会 報 告

少年副議長 松下 潤

私は遊佐高等学校2年の松下潤です。私は地域未来留学制度を使い、遊佐で住み、少年議会に参加して2年になりました。今年は忙しく、昨年のようにあまり積極的に活動に参加できませんでした。遊佐マルシェなどに、修学旅行が重なることや自分の学校活動が忙しくなるなどハプニングが続き、遊佐マルシェや特産品開発など重要なイベントにあまり絡めなかったのも、次は出来るだけ積極的に出席し、少年議会でも活発に活動し遊佐町に貢献していきたいです。また、活動に関しても、自分のやりたい「少年議会の活動の広報」ができてお

らず、地元の人に「少年議会って何やってるの?」と聞かれるようなことがあったので、来年度では、ぜひ少年議会の活動が分からないという人を減らし、活動内容を透明化して積極的に外部に広報していきたいです。よろしく願いいたします。

議 会 報 告

少年議員 遠田 愛果

私は遊佐中学校1年の遠田愛果です。今年初めて少年議会に入ってみて初めて町のために活動が出来ていると思うことができました。

今期は「ゆぎマルシェ」や「特産品開発」を政策として行いました。「ゆぎマルシェ」ではメンバーのみなまでお客様に買ってもらえるように見た目に工夫をこらしたり、接客の練習などをし、そのおかげで全ての商品を完売することができました。「特産品開発」ではパッケージ作りを行い、遊佐町らしいデザインのものを作れているなど感じました。

このような活動を通して、私はゆぎマルシェに出店していただいた企業の紹介をプリントだけでなく、大きなホワイトボードなどにも企業の説明やおススメポイントなどを書いているとより多くの人の目にも留まり、さらに興味をもってもらうことができたのかなと感じました。

そのため、私は来年も遊佐マルシェを行いたいと思いました。

議 会 報 告

少年議員 佐藤 大斗

僕は遊佐中学校2年の佐藤大斗です。僕は今年初めて少年議会に立候補し、1年間活動してきました。今年度の少年議会の政策は、ゆぎマルシェの開催と特産品の開発でした。

ゆぎマルシェでは、若者・中高生へ遊佐の魅力を伝えるために行いました。マルシェに出店いただいたお店はたくさんありましたが、僕が知らないお店もありました。その時に僕は、「遊佐の有名なお店も知らないんだ。僕の遊佐の知識はまだまだ浅いんだな。」と思いました。同じ中高生でも知らない人が多いと思うので、このようなイベントを定期的で開催したり、自分自身でも積極的に発信したいと思いました。特産品開発も同じように、遊佐の名産品や特産品を知り、遊佐町の良さを更に実感するなどとても良い経験になりました。

僕はこの活動を通して、たくさんの遊佐町の良さに気づくことが出来ました。しかし、同級生の中にはまだ遊佐町の持つ良さに気づいていない人も多いかもかもしれません。少年議会に入ってしまうのが一番簡単だとは思いますが、来年度は受験シーズンに突入するので人によっては少し難しいのかもしれませんが、なので、そういう人たちでも興味を持って参加し、遊佐のことを詳しく知ることができるイベントを開催できれば良いなと思っています。

来年度は受験がありますが、入ろうか迷っています。でも、今年度少年議会に入っすぎて楽しかったです。このことを忘れずに自分が感じた遊佐の良さを発信していきたいと思っています。1年間ありがとうございました。

少年議員 齋藤 妃花里

私は、少年議員の遊佐中学校 3 年齋藤妃花里です。今期の政策で特に私が印象に残っていることは「ゆざマルシェ」への参加です。今期の少年議会の施政方針は、『魅力発掘～ココロオドルまちづくり～』というもので、ゆざマルシェのコンセプトはまだあまり知られていない遊佐町で製造・販売されているものを、若者をターゲットとし、少年議会がゆざマルシェで販売することにあります。遊佐町にあるものの魅力を知ってもらい、認知度を広めたい、そして遊佐町にもっと興味を持って欲しいという思いで、少年議会のみんなとこの政策に取り組みました。たくさんのお客様と触れ合うことができ、遊佐町の良さを感じてもらえたことや、出品した商品も完売し、大変喜んで頂けたと感じています。遊佐マルシェを開催するまでの準備はもちろん大変でしたが、マルシェに参加したことで少年議員としてのやりがいを感じ、またチャレンジしてみたいと思える活動でした。

そして、今年は参議院選挙があり、山形県の投票率が全国 1 位であったということで、今期で 20 期目を迎えた少年議会の取り組みが注目され、「遊佐町少年議会」の知名度が一気に上がった年でもあったと思います。この少年議会の取り組みが多くの方に評価されれば、遊佐町民をはじめ、遊佐町民以外の方にも遊佐町に興味を持ってもらうキッカケになり、ますます私たちの議員活動も誇りをもって行えると思いました。

私は中学三年生で部活動も忙しく、受験を控えているため、全員協議会に参加できないことも多くありましたが、今期はとて有意味な話し合いや活動ができたと思います。活動をするたびに新たな人との出会いや関わりがあり、普通では経験することができない貴重な体験をさせてもらっているなといつも感じていました。周りで支えてくださっていた多くの方々にとても感謝しています。

一年間ありがとうございました。

少年議員 佐藤 楓

今期少年議会は特産品作りと遊佐マルシェをし、私は特に遊佐マルシェに力を入れて取り組みました。

遊佐マルシェは施政方針の「魅力発掘！～ココロオドル町づくり～」をもとに若者に遊佐の魅力を発見してもらうために始めました。最初のころ遊佐マルシェは単体で開催しようとしていましたが、それでは客足は伸びないのではないか、場所によっては人が寄りにくいのではないかなどさまざまな問題が考えられました。最終的に「まるっと遊佐祭り」で場所をいただいてマルシェを開き、結構な数のお客さんが来てくれてこの政策は成功したのだと思います。来てくれた方々も遊佐町の魅力を発見していたように感じました。たくさんの人にいろんな案を出して形になったマルシェで魅力を発掘してもらえたようなので開催して良かったと思いました。

この活動を通して私は来期の少年議会では古民家の活用をしたいと思います。なぜならマルシェを開催するにあたって最初に課題となったのは場所だからです。このことから改めて遊佐町は町の中心である遊佐地区に施設が多く、他の施設は駅から遠いなど不便なことが多

いことが課題だと思いました。駅を増やす、バスの便を増やすなど交通の方でこの課題を解決しようとするのは難しいです。だから、前から取り組んでいる古民家の活用をもっと活発にできればと思いました。古民家はそれぞれの地区にあると思うのでカフェ、ミニ図書館、簡易的なゲームセンター、イベント会場など利活用の仕方は様々ですがそれで遊佐町がコロオドル町になってほしいと思います。若者向けだけでなく、中高年の方たちも楽しめるような施設にもしたいです。

議 会 報 告

少年議員 矢口 理正

私は、少年議員の矢口理正です。今期の少年議会の政策で一番印象に残っていることは、遊佐マルシェです。遊佐マルシェでは、「遊佐の魅力を発掘する」を目標として、新型コロナウイルスの影響下で、出来ることが限られている中、出店していただく企業や出品する商品の選択、飾り付け、運営のほぼ全てをみんなで協力して取り組み、やり切りました。私は、この政策を進める中でいろいろな遊佐の魅力に触れ、いろいろな場所に行き、議会の外でも自分からもっと遊佐を知りたいと思うようになっていきました。

年齢も、通っていた学校も、人によっては出身地も違う、そんな先輩達は最初は少し怖かったけれど、今では心から尊敬しています。遊佐でしか出来ない、遊佐にしかない遊佐の魅力を身をもって体験する、間違いなくこれまでで最高に楽しい1年間でした。

私は「遊佐町に恩返しをしたい」と思い少年議会に立候補しました。それは、自分含め多くの人に遊佐の魅力を知らせてもらうというこの政策を通して達成出来たと考えています。少年議会が日本中で注目されている今、これからの活動でもっと多くの方が遊佐の魅力を発掘してくれると信じています。1年間ありがとうございました。

議 会 報 告

少年議員 池田 涼人

私は酒田南高校2年の池田涼人です。

今期の活動を振り返ってみて、特に印象に残っているのは政策のゆぎマルシェと特産品開発です。私は最初、マルシェと聞いたときは何をするのかまったくわかりませんでした。ネットで調べてみると、マルシェとは小さい市場のようなもので、お店では野菜や雑貨などが主な商品となっています。この情報だけを見たときに、果たして開催出来るのだろうかと思っていましたが、様々な人たちの協力のもと、無事開催することができて本当に良かったと思います。

次は特産品開発です。少年議会オリジナルの特産品を開発するまではいけなかったものの、道の駅ふらっと鳥海さんとの共同で新商品のパッケージ開発を行いました。当初の予定とは遠いですが、実績として残すことができ嬉しかったです。

今期の活動を通して、コロナ禍でも町民の人たちを巻き込んだイベントが少なくなっていたことが課題だと思いました。今後、マルシェのようなイベントを増やして、特産品開発もいつか実現につながって欲しいと感じました。私個人でも課題となるようなことに気づいたこともあるので、来期に向けて直していきたいと感じました。1年間、ありがとうございました。

少年議員 佐藤 里桜

私は酒田東高校2年の佐藤里桜です。私は今期初めて少年議会に参加しました。初めの方は分からないことだらけでしたが、全員協議会など話し合う回数を重ねていくうちに、自分のアイデアや意見を言えるようになったと思います。

今期、少年議会の活動としてはゆざマルシェの開催と特産品開発を行いました。マルシェについては遊佐町に住む中高生に、自分達の住んでいる町のいい所を知ってもらうことを目的に行いました。マルシェ当日は大勢の方が来てくださってとても嬉しく思いました。しかし、ターゲットとしていた中高生はあまり来てくれませんでした。この反省を活かして、次回何かを企画するときには、ターゲットへの情報の伝え方を見直したいと思いました。今回は学校にチラシを配るという方法を取りましたが、もっと多くの人の目につき、興味を持ってもらえる宣伝の仕方を、来期以降は考える必要があると思います。

一年間の活動を通して、普通に生活していたら出来ないような活動ができたり、新たな仲間と遊佐町について話し合ったりできて、少年議員に立候補して良かったと感じます。来期は受験があるので、立候補するか迷っていますが、今期に行った活動は私の中で本当に貴重で大切なものになりました。一年間、ありがとうございました。

少年議員 太田 英遙

私は酒田東高校3年の太田英遙です。今期私は受験勉強のため、9月あたりまでしか参加できませんでした。少ないながらも活動に参加してみたの反省点を振り返りたいと思います。

私が参加した少年議会としての活動というのも、今期のテーマ決めに関する段階で、それに向けてどのような活動をするかといった活動の内容に触れるところまで参加できませんでした。しかしながら、遊佐町の議員さんとの交流会に参加し、遊佐の魅力、課題点を再確認したうえで、どのように発信していくべきかを話し合えたのはとても良い機会となりました。その中で出た「PRの方法」について町の課題点だと考えました。私は、「ただアピールするだけではなく、何かしらと紐づけした方が良いのでは」と考えました。QRコードの利用、食べログなど多くの人が閲覧するようなサイトに載せるなどの方法をとってみてはいかがでしょうか。遊佐の良さは写真や文章では伝えきれないと思います。人に触れ、来てもらうことで遊佐町をもっと広めていくことができるのではないのでしょうか。

来期の少年議会は、遊佐の良さをもっと伝えられるような案を、次の世代を担っていく後輩に出して欲しいです。二年間活動に参加出来て本当に良かったと感じましたし、誇らしく思いました。

以上で活動報告を終わります。ありがとうございました。

少年監査 金澤 空蒼

私は遊佐高校3年の金澤空蒼です。今年度初めて、遊佐町少年議会に立候補して活動してきました。政策で行った活動以外にも、鹿の角切りなども含めた様々な活動を通して、とても貴重な体験ができ、たくさんの社会勉強ができたと思います。

政策の中では、私は主に特産品開発を頑張ってきました。特産品開発では限られた時間の中で決めることがとても大変でした。また、もう一つの政策でもあるゆざマルシェの運営をしたときには仲間と準備し、販売にも携わることが出来てとても楽しかったです。

半年間という短い期間でしたが、一緒に頑張ってきた仲間や遊佐町の職員さんをはじめとする大人の方々にも感謝したいです。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

少年監査 菅原 彩希

私は酒田光陵高校3年生の菅原彩希です。今期初めて少年議会に参加し、とても良い経験をさせていただきました。「魅力発掘～ココロオドルまちづくり～」をテーマにゆざマルシェや特産品開発を行いました。その活動を通して、遊佐町の魅力をよく知り、発信していくことの大切さや重要さを学びました。また、普段の全員協議会や町議会議員の方との意見交換会では遊佐町の魅力だけではなく遊佐町の課題も感じました。特に感じた課題は人口の減少です。小学校が1つになることが1番身近で、最も人口減少を感じたことでした。遊佐を良くするために何をするかを考える時には必ずと言っていいほど人口減少に関することが出てきていると思います。これを解決していくには、遊佐町の魅力をもっと様々な地域の人に知ってもらい、関係人口を増やしていく必要があると私は思います。若い人にもっと遊佐の自然や食べ物について発信し、活気に溢れる遊佐町になって欲しいです。

今期、特産品開発では遊佐町や酒田市の特産品を自分たちなりに分析し、参考にしながら既存のさつまいもカステラのパッケージデザインを提案しました。来期、私は参加できないのですが実現し、遊佐町定番の特産品になってほしいと思います。

少年議会に参加して違う学校の人や年齢の違う人、大人の方々と話していくことで遊佐町の魅力、現状を知ることが出来ました。これからは少年議会で感じたことや学んだことを活かしていきたいです。

少年事務局長 池田 花恋

私は遊佐高校2年の池田花恋です。今回の少年議会では遊佐マルシェと特産品のパッケージ作りを行いました。

私の担当は特産品の方で、少年議会のみならず協力しました。最初は商品名を考え、その次にパッケージのデザイン決めをしました。みんなで話し合いをしながら良いものをつくりあげるのがとても楽しかったです。他にも作る過程で道の駅ふらっと鳥海へ視察することが

ありました。そこで現在の品ぞろえや遊佐町の特産品はどのくらいを占めているのかふらっとの駅長さんに教えて頂きました。やはり一番知っている人に話を聞くと説得力があり、大人の意見なため、私たちにはないまた違った発見があり、とても勉強になりました。

この少年議会での個人の反省をしては、参加数がとても少なくなってしまったことです。学校の部活動や、全員協議会そのものを忘れてしまったことがあり、自己管理ができていないと感じました。信用を失いかねないことをしてしまったので、今後は自分を律するように日頃から心がけたいと思います。

議 会 報 告

少年事務局次長 菅原 未宇

私は遊佐中学校1年の菅原未宇です。少年議会の活動に参加することで、さらなる遊佐町の魅力に触れることができ良かったと思えました。部活動などで後半の活動にはなかなか顔を出せなかったのは心残りではありますが、それでも、参加した活動の中で得られた新しい考えや経験は私のこれからは生きていくと実感しています。特産品開発についても、先輩方と意見を出し合ったり、皆さんと意見を共有した時間はとても有意義なものでした。

活動を通して、遊佐町には特別大きなテーマパークがあるわけでもなければ、ショッピングモールがあるわけではないので、今ある魅力を発掘したり発信していくのは難しいことだと最初は考えていました。しかし、活動で魅力に触れていくことで私自身遊佐町がもっと好きになりましたし、マイナスをプラスに、魅力に変えていけるんだということに気づかされました。

今期、このように町の政治に関わる活動に参加させて頂いてとても光栄でした。ありがとうございました。

議 会 報 告

少年事務局次長 中川 詩野

私が今期の少年議会の活動で、最も印象に残ったのは遊佐マルシェです。

これはもともと私が、遊佐の魅力を遊佐の若い人たちに届けたいと思い提案した政策でした。この遊佐マルシェで私が学んだことは、企画を考える上での「目標」の大切さです。そもそも私は政策を考えるのが初めてで、当初思い描いていた遊佐マルシェは、現実的に難しい部分もありました。遊佐マルシェはイベント的な要素が強かったので、ステージをつけて人を呼んだり、遊佐っ子かるた大会をしたり、自分の中で夢ばかりが広がっていました。もちろん全て出来れば良いですが、少年議会の力では限界があるのも事実です。やりたいことのアイディアは無限に出ますが、企画を考える上での大切なのは、やりたいことではなくやるべきことです。それを区別するためには目標が必要でした。遊佐マルシェの目標は、「遊佐の若者に遊佐の魅力を伝える」ことです。そのためには、何を売るべきなのか、何処で売るべきなのか、いつするべきなのか、全てにおいて、目標が選択の基準になることが、企画を成功に導く鍵だと思えました。次回の少年議会やその他の活動でも、今回学んだことを生かして、常に目標を傍らに置いて考えていきたいです。

また、初めは厳しいことも多かった遊佐マルシェを、実際に形にすることができたのは、少年議会の仲間や大人、そして出店して下さったお店の皆様など、沢山の方の協力があっ

たからにほかなりません。本当にありがとうございました。

議 会 報 告

少年事務局次長 片山 櫻

私は少年事務局次長の片山櫻です。

今期は2回目の参加でしたが、もっと良くできる所が自分にも仕組みとしてもまだまだあるなと思いました。

その1つに第2回少年議会で町への要望を私たちが発表した後の役場の方々からのお返事についてがあります。私たちの要望に対してお返事くださっている言葉や内容が、あまり中高生には馴染みがなくしっかり内容を理解して受け取れていない時があります。もう少し噛み砕いて説明して頂けると私達も理解しやすくなり納得できると思います。よろしくお願いします。

活動としては、最初の自己紹介の際アイスブレイクがあったのがとても良かったと思います。これは昨年の活動報告文で課題として挙げていたことだったので、実施されて嬉しかったです。また、私は特産品チームで活動し、既存商品の「さつまいもカステラ」のパッケージの依頼を受けました。私が提案した「さつまいも文庫」の案が採用されかなり前向きに検討してくださるそうでとても嬉しいです。詳しいデザインについてみんなで話し合いう時間はとても有意義でしたし、遊佐の魅力を再発見することもできて良かったです。「さつまいも文庫」がより遊佐町の関係人口を増やし町の活性化に役立てることを期待しています。

来期の活動でやりたいことは2つあります。1つ目は、遊佐町の少年議会と似たような活動をしている団体と関わることです。他の事例を知り学ぶことで遊佐町少年議会をより良くすることができるのではないかと思います。2つ目は、コロナの状況によりますが、世代問わず町の人々と関われるイベントもできたら嬉しいなと思います。今人と人との関わりが減っていますが、私は遊佐町に来て雪かきなど当たり前のように地域の人々で助け合っていることに感動しました。そんな遊佐の素敵な日常を全面に出したいと思っています。

1年間ありがとうございました。

少年
議会

若者の力で、遊佐の未来をつくる
～遊佐町少年町長・少年議員公選事業～

山形県遊佐町教育委員会 社会教育係

youthgikai@town.yuza.lg.jp

少年
議会

少年
議会

湧水の里・遊佐町

山形県と秋田県の県境、庄内平野の北端に位置


- 人口：12,777人（2023年2月末現在）面積：208.39 K㎡
- 自然：五大自然（山 川 海 平野 砂丘）
鳥海山（2,236m）・釜磯・月光川・丸池様
- 産業：米、砂丘メロン、岩ガキ、パプリカ、庄内柿、促成山菜



少年
議会

今日お話しする内容

- きっかけとねらい・遊佐町少年議会とは
- 少年議会が実現してきた政策について
- 本事業の目的達成のために
- 成果と課題



少年
議会


きっかけ - 当時の情勢 -

2000年頃の遊佐町で抱える問題…

- 平成の大合併
- 進学や就職等で遊佐町を離れる若者
- 人口減少、職住分離、生活形態の多様化

↓

時代を牽引する**若者の減少**




少年
議会


きっかけ - 大人たちの苦悩 -

町や町の大人たちは考えました

一方、『若者』はどうしたら良いのか…？




『地域の大人』は何をすれば良いのか…？



少年
議会

きっかけ - 町の考え -

- 若者自身からは地域社会の一員であることを自覚してもらいたい
- 若者の活躍の場を創るための環境づくりが必要である
- 若者の力・意見を取り入れたまちづくりを推進していこう
- 若者からさらに町へ愛着や関心を持ってもらいたい



きっかけ - 少年議会の誕生 - 少年議会

『自分たち』の力で、『自分たち』が本当に求める遊佐のまちをつくろう!!

2003年 - 少年町長・少年議員公選事業誕生



少年議会の特徴 少年議会

- ① 自ら立候補する
 - 定員：少年町長（1名） 少年議員（10名）
 - 選挙権・被選挙権：町内在住・在学の中中学生、高校生
 - 令和4年度 有権者 592名
- ② 中高生（有権者）全員が投票する
- ③ 独自の政策予算をもつ
令和4年度：45万円




1年の流れ 少年議会

全体スケジュール

5月上旬	各高校 & 中学校生徒への説明会
5月下旬	立候補受付期間（約1週間）
6月上旬	投票日（各学校にて）
6月中旬	開票・当選証書交付式
～7月上旬	第1回 少年議会 （所信表明）
7月～8月	政策立案期間
8月下旬	第2回 少年議会 （一般質問・政策提言）
8月～12月	政策実施期間（視察研修・意見交換会）
12月下旬	第3回 少年議会 （議会報告）


町長以下、全課長が出席し、答弁・激励を行う



立候補者募集 少年議会


少年議会プロジェクト委員

- 選挙管理委員会、議会事務局、企画課企画係、教育委員会から組織
- 学校を訪問して立候補者募集



選挙（広報）公報の作成


- 立候補者の顔写真と立候補の抱負が記載
- 選挙になった場合、有権者はこれらを参考に投票



投票（アンケート調査） 少年議会


定数を超えた時は、投票に

- 学校に向向いて、その場で投票
- 投票率：85.97%（第20期少年議会）



アンケート調査


- 有権者の意見を政策に反映
- 内容は遊佐町が好きか、どんな町になってほしいか、少年議会と一緒にしたい事など



開票・当選証書付与式 少年議会



開票

- プロジェクト委員で開票
- 少年議会からは立会人として参加することが可能



当選証書付与式・第1回少年議会

- 当選証書の付与 → 少年町長、少年議員
- 委嘱状の交付 → 少年副町長など
- 第1回少年議会で**所信表明**

政策立案

少年
議会

アンケート集計・分析、政策立案


- 有権者が少年議会・町に何を求めているか
- 少年議会として自分が何をしたいのか
- 回収率： **82.60%**（第20期少年議会）





施政方針

少年
議会

令和4年度第20期少年議会 施政方針 

魅力発掘～ココロドルまちづくり～

政策提言

- **ゆざマルシェの開催**
- **特産品開発**


一般質問（町への要望）

- **未来を担う若者たちの勉強会の開催**
- **小学校統合に伴う空き校舎の利活用方法について**
- **スクールバスの増便について**

今日お話しする内容

少年
議会

- きっかけとねらい・遊佐町少年議会とは
- **少年議会が実現化してきた政策について**
- 本事業の目的達成のために
- 成果と課題



遊佐町イメージキャラクター「^{べえ}米～ちゃん」

少年
議会

町民が一つにまとまるよう遊佐町のシンボルが欲しい (有権者の声)

- 第2期少年議会が全町民対象に募集し、選考・決定
- 2004年に誕生！ **今年で18周年のキャラクター！！**





米～ちゃん&ライちゃんの着ぐるみ ↑
← 2009年には、ファミリーが登場

要望書・陳情書の提出

少年
議会


帰宅時間帯の電車増便の要望（第5、16期）

→ JR東日本へ


町内の街灯の設置の要望（第11期）

→ 町へ

- 若者の要望を町に届けるため、現地調査や署名活動
- 要望書・陳情書を作成して町・関係機関に提出
- **電車の時間変更や街灯・防雪柵の設置など一部実現**



← JR東日本へ陳情書を提出




アンケートを集計 →

被災地支援・ボランティア

少年
議会


東日本大震災被災地支援活動・募金（第9期）

- 高校と連携して、現地でボランティアを実施
- 町内イベントで募金活動（第9期～）



クリスマス交流会in陸前高田（第11期）



- 被災地でのソーランチャリティがしたい & 心の交流を行いたい
- 少年議会 & 遊佐高校の約30名が参加
- 芋煮とソーラン・ハンドベル教室で交流
- 1週間前から練習を重ねて臨んだ
- 準備～当日司会まで少年議会で企画



少年
議会


町議会議員との意見交換会の実施

- 少年議会の政策を充実させるために大人の議員たちの意見も参考にしたい！

町議会議員との意見交換会の実施（第17、18期）


- グループに分かれて少年議会の政策について協議
- 第19期～定例化となり政策としてではなく年間スケジュールの一部として実施



少年
議会

今日お話しする内容

- きっかけとねらい・遊佐町少年議会とは
- 少年議会が実現化してきた政策について
- **本事業の目的達成のために**
- 成果と課題




少年
議会

本事業の目的達成のために

【議員の主体性を尊重する】

- アドバイス・提案は基本的にに行わないようにする。
 - ・大人が意見を言うと、正しいように感じてしまうため
 - ・やらされていると感じてしまうと、意欲が減退する可能性があるため
- 学生の本分に沿った活動を行う
etc)強制ではないこと、忙しい時期の活動は行わない




少年
議会

本事業の目的達成のために

【各学校との協力事項】

- 管内の各学校に少年議会の担当の先生を配置して頂いている。
- 管内の各中学校、高等学校については立候補募集期間前に各学校で生徒向けの説明会を行わっている。同様に、立候補の取りまとめ、選挙があった際には投票の段取り等をお願いしている。
- 第3回少年議会の際には各校長から出席頂いている。

各学校からは、生徒の内面的な成長が見え、非常に良い事業として捉えているとの声を頂くことが多いです。




少年
議会

本事業の目的達成のために

【保護者の協力】

- 少年議会のメンバーへの文書の送付や連絡対応
- 活動を行っている生涯学習センターまでの送迎
- 活動に対するご理解とご協力


事業の初期はご理解を頂いておらず、親の了承が得られずに立候補を断念した学生もいました。町も時間を過ぎた活動を行った際にはお叱りを受けたこともありました。活動には保護者のご理解・ご協力がなければ活動できません。





少年
議会

今日お話しする内容

- きっかけとねらい・遊佐町少年議会とは
- 少年議会が実現化してきた政策について
- 本事業の目的達成のために
- **成果と課題**



事業の効果	少年 議会
<p>【少年町長・少年議員】</p> <ul style="list-style-type: none">■ 遊佐町に関心を持つようになった■ 自信と責任が生まれた■ 地域におけるリーダーが育ち始めている <p>【地域住民】</p> <ul style="list-style-type: none">■ 挨拶の仕方・人前での発言が「頼もしくなった」「上手になった」との声■ 団体から少年議会に、意見・アイデアを求めるケースも <p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none">■ 若者の提言を、町議会と同等の重みを持って受け止め、反映	

今後の課題	少年 議会
<p>本事業についての更なる周知</p> <ul style="list-style-type: none">■ 有権者や地域の大人からより一層少年議会について知ってもらい、活動に参加・協働してもらいながら事業を進める必要あり。 <p>立候補者の確保</p> <ul style="list-style-type: none">■ 令和4年度は少年議員に18名の立候補があったが、近年、新しい立候補者が少なく選挙にならない傾向にある。有権者も2003年当時は1,316人いましたが、今年度は592人でした。多くの立候補があるよう更に、有権者の中学生・高校生に興味を持ってもらえるよう活動内容のPRと、保護者、関係機関への協力の呼びかけを行う。	


ご清聴ありがとうございました youthgikai@town.yuza.lg.jp

町議員との意見交換会の様子



東北芸術工科大学への視察（視察研修）



特産品開発（政策①）



道の駅ふらっとへ提案している様子（政策①）



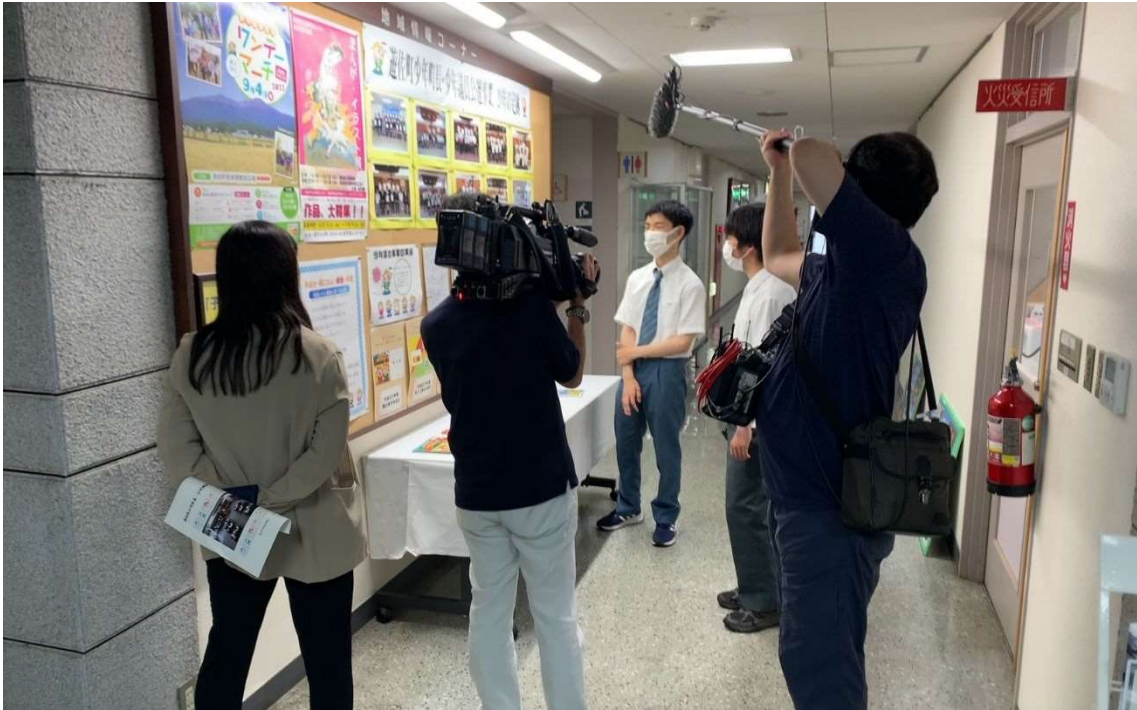
ゆざマルシェ準備の様子（政策②）



ゆざマルシェ本番の様子（政策②）



少年議会取材の様子





少年議会とは

町では、若者の力によるまちづくりを目指し、町在住・在学の中高生の中から「少年町長」と「少年議員」を選挙で選び少年議会を開催しています。少年町長と少年議員は、町の若者代表として政策を議論して決めていきます。

構成人数

第20期少年議会は、過去最多の全18名で活動します。

これまでの活動

第19期は、町のオリジナルかるたの作成やマニフェスト大賞への参加などを行っています。それ以前も、遊佐町オリジナルキャラクターの発案やJRのダイヤ改正への要望などを実現し、若者目線からの行政参画を進めています。

若者目線による政策実現へ

6月28日、少年町長・少年議員当選証書付与式及び第1回少年議会が行われました。遊佐町長より当選証書、少年町長より任命書が手渡された後、所信表明を行い第20期少年議会がスタートしました。

この日、少年町長に就任した佐藤壘さんは、少年町長2期目。中学1年生から少年議会に在籍しているため6期目の活動になります。最後の年を迎えるにあたって「6年目で最後の年である今年度は、新しいことに挑戦したい。全員で目標に向かって頑張っていく」と所信を述べました。20期目を迎えた少年議会に今後もご期待ください。

第20期少年議会メンバー

【少年町長】

佐藤 壘 (羽黒高校3年)

【少年副町長】

安藤 希祥 (遊佐高校3年)

【少年議員】

鈴木 詩乃 (酒田光陵高校3年)

【少年副議長】

松下 潤 (遊佐高校2年)

【少年議員】

遠田 愛果 (遊佐中学校1年)

佐藤 大斗 (遊佐中学校2年)

齋藤 妃花里 (遊佐中学校3年)

佐藤 楓 (遊佐中学校3年)

矢口 理正 (遊佐中学校3年)

池田 涼人 (酒田南高校2年)

佐藤 里桜 (酒田東高校2年)

太田 英遙 (酒田東高校3年)

【少年監査】

金澤 空蒼 (遊佐高校3年)

菅原 彩希 (酒田光陵高校3年)

【少年事務局次長】

池田 花恋 (遊佐高校2年)

【少年事務局次長】

菅原 未宇 (遊佐中学校1年)

中川 詩野 (遊佐高校1年)

片山 櫻 (遊佐高校2年)

第20期少年議会活動報告

今年度で20期目を迎える遊佐町少年議会は、少年町長（1名）・少年副町長（1名）・少年議員（10名）・少年監査（2名）・少年事務局長（1名）・少年事務局次長（3名）の計18名で活動してきました。当選した昨年6月から12月まで、学業・受験・部活動との両立を図りながら、町の事を考え一生懸命活動しました。主な活動を振り返り紹介します。

メンバーの知恵を集結しました 〜特産品開発〜

今年度の政策の一つが、町の特産品の開発です。名産品を使った町ならではの商品を開発するといったものです。少年議会で行ったのは、特産品を販売している店舗での調査と商品開発です。町内の「道の駅鳥海ふらっと」と酒田市の「酒田夢の倶楽」にお伺いし、この辺りではどんなものが販売されているか、ニーズがあるのかを確認して開発につなげることを目的として活動しました。その中で、「道の駅鳥海ふらっと」と共同で新たな特産品開発について進めることができました。



「道の駅鳥海ふらっと」の視察



特産品開発について協議中



少年議会の意見を町長に提案

この町には素敵な物がたくさんある

ゆざマルシェ

二つ目の政策が「ゆざマルシェ」の開催です。この政策の目的は、町で若者向けの商品が製造・販売されていることを知り、周知することで町の魅力を更に知ってもらうことです。マルシェに並べる商品を調査するにあたり、町内の店舗や施設に伺いました。

ご協力いただいたのが町内3つの店舗（「古民家カフェわだや」「Boulangerie NAO」「ハンドメイドたてさわ」と町内の2施設（道の駅鳥海ふらっと」「しらい自然館」）で、町にお店を構えたきつかけや、商品の特徴を取材しました。マルシェでは、お客様にしっかり商品やお店の紹介をし、準備した商品は全て完売しました。中には早々に売り切れてしまい、追加で商品を用意したものもありました。今後、町の新たな魅力の発見や、周知を行っていきたいと思います。



少年議会が作成したゆざマルシェのチラシ



最後はみんなで記念撮影



当日の販売の様子

他にもさまざまな活動やイベントに参加や協力を行っています



東北芸術工科大学の視察研修



鹿の角切り



オンライン取材の対応

- ・町議会との意見交換会
- ・参議院選挙に向けた選挙音源の録音
- ・鹿の角切り
- ・東北芸術工科大学への視察研修
- ・各種取材対応



町議会と少年議会の集合写真

今期の活動を終えて

12月19日に第3回少年議会を開催し、今年度の活動が終了しました。第3回少年議会で発表した活動報告の作文を紹介します。(一部抜粋)



少年町長
佐藤 壘 (羽黒高校3年)

今年度の少年議会は、例年とは大きく違っていました。過去最多の人数であり、自分が思いつかないような意見も、多く取り入れることができました。今後の少年議会にも、今の自分達を超えるような活動をしてもらいたいと考えています。



少年副町長
安藤 希祥 (遊佐高校3年)

今期の活動を通して、改めて他者と協力し、一つのことに取り組むことの難しさを感じました。私は今期で引退となりますが、これからの少年議会に向けてアドバイスをさせてもらえるなら、「目的を意識・共有し、常に未来を想像しよう」です。あらゆる状況で未来を想像し、みんなで協力して未来に進んでいって下さい。



少年議長
鈴木 詩乃 (酒田光陵高校3年)

今期の少年議会では、各メンバーが意見を主張しつつも、協議を重ねることで政策を進めていけたと感じています。昨年からは少年議長を務めましたが、普通の高校生活を送るだけでは経験できないような濃い内容だったと感じています。



少年副議長
松下 潤 (遊佐高校2年)

今年は、昨年のように積極的に活動に参加できませんでした。ゆざマルシェなどの政策の大事なタイミングにことごとく参加できなかったことが悔やまれます。次は出来るだけ積極的に出席し、特に自分のやりたい「少年議会活動の広報」を積極的に行っていきたいです。



少年議員
遠田 愛果 (遊佐中学校1年)

「ゆざマルシェ」では、販売する商品の見た目の工夫や、接客の練習をするなどし、その甲斐もあり用意した商品は完売することができました。ただ、活動を通して反省点もありました。さらに工夫すればもっと興味を持ってもらえたのかなと感じました。



少年議員
佐藤 大斗 (遊佐中学校2年)

同年代の友達の中にはまだ町の持つ良さに気づいていない人も多かもしれません。遊佐のことを詳しく知ることができるイベントをさらに開催できれば良いと思っています。今後も自分が感じた遊佐の良さを発信していきたいと思っています。



少年議員
齋藤 妃花里 (遊佐中学校3年)

今期で20期目を迎えた少年議会の取り組みが注目され、知名度が一気に上がった年だったと思います。普段の生活では経験することができない貴重な体験をさせてもらいました。周りで支えてくださっていた多くの方々にとっても感謝しています。



少年議員
佐藤 楓 (遊佐中学校3年)

私は来期の少年議会では古民家の活用をしたいと思いました。古民家はそれぞれの地区にあると思うのでカフェ、ミニ図書館、簡易的なゲームセンター、イベント会場など利活用の仕方は様々ですがそれで遊佐町がココロオドル町になってほしいと思います。



少年議員
矢口 理正 (遊佐中学校 3年)

入った当初、先輩たちは少し怖かったですが、今では心から尊敬しています。
遊佐でしか出来ない、遊佐にしかない遊佐の魅力について、身をもって体験することができました。
間違いなくこれまでで最高に楽しい1年間でした。



少年議員
池田 涼人 (酒田南高校 2年)

今期の活動を通して、コロナ禍で町民の人たちを巻き込んだイベントが少なくなっていたことが課題だと思いました。
今後、マルシェのようなイベントを増やして、特産品開発もいつか実現につながって欲しいと感じました。



少年議員
佐藤 里桜 (酒田東高校 2年)

今期の政策を通じて、大勢の方がお店に来てくれたのは嬉しかったです。今回の政策のターゲットである「中学生」はあまり来てくれませんでした。
今後何かを企画するときには、ターゲットへの情報の伝え方を見直したいと思いました。



少年議員
太田 英遙 (酒田東高校 3年)

町の魅力、課題点を再認識したうえでどのような発信をしていくかを話し合えたのはとても良い機会となりました。
来期の少年議会は、遊佐の良さをもっと伝えられるような案を、次の世代を担っていく後輩に出して欲しいです。
二年間活動に参加できて誇らしく思います。



少年監査
金澤 空蒼 (遊佐高校 3年)

特産品開発では限られた時間の中で決めることがとても大変でした。
また、もう一つの政策でもあるゆざマルシェの運営をしたときには仲間と準備し、販売にも携わることが出来てとても楽しかったです。
貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



少年監査
菅原 彩希 (酒田光陵高校 3年)

活動を通して、町の魅力をよく知り、発信していくことの大切さや重要性を学びました。
少年議会に参加して違う学校の人や年齢の違う人、大人の方々と話していくことで遊佐町の魅力、現状を知ることが出来ました。これからは少年議会で感じたことや学んだことを活かしていきたいです。



少年事務局長
池田 花恋 (遊佐高校 2年)

特産品開発の過程で「道の駅鳥海ふらっと」へ視察することがありました。そこで品揃えや町の特産品はどのくらいを占めているのか駅長さんに教えて頂きました。とても勉強になりました。
活動の反省点もあり、今後も自分を律せられるように日頃から心がけたいと思います。



少年事務局次長
菅原 未宇 (遊佐中学校 1年)

今ある魅力を発掘したり発信していくのは難しいことだと最初は考えていました。
しかし、活動で魅力に触れていくことで私自身町がもっと好きになりましたし、マイナスをプラスに、魅力に変えていけるんだということに気づかされました。



少年事務局次長
中川 詩野 (遊佐高校 1年)

やりたいことのアイディアは無限に出ますが、企画を考えるうえで大切なのは、やりたいことではなくやるべきことです。それを区別するためには目標が必要でした。ゆざマルシェの目標は、「遊佐の若者に遊佐の魅力を伝える」ことです。今回学んだことを生かして、常に目標を傍らに置いて考えていきたいです。



少年事務局次長
片山 櫻 (遊佐高校 2年)

町への要望に対する町からの回答について、もう少し咀嚼した表現で答えて欲しいと感じました。ただ、昨年の課題であげた部分については対応していただき、嬉しく思いました。来期やりたいことは他の少年議会のような団体と関わることで、町全体で関われることができれば良いなと考えています。



令和4年度遊佐町少年町長・少年議員公選事業
プロジェクト委員名簿

番号	所 属	職 名	氏 名
1	議会事務局	議事係長	船越 早苗
2	総務課（選管）	総務係主査	佐藤 裕也
3	企画課	企画係主事	菅原 優輔
4	〃	観光物産係主事	金子 圭汰
5	教育課	課長	菅原 三恵子
6	〃	学校指導係長兼指導主事	鈴木 純平
7	〃	総務学事係主事	池田 小珠
8	〃	文化係主事	金野 史弥
9	〃	社会教育係長	斎藤 浩一（事務局）
10	〃	社会教育係主査	太田 さおり（事務局）
11	〃	社会教育係主任	池田 有彦（事務局）
12	〃	社会教育係主事	風間 雅文（事務局）
13	〃	社会教育アドバイザー	菅原 充（事務局）
14	〃	社会教育アドバイザー	今野 誠（事務局）

- ◆ 遊佐町少年町長・少年議員公選事業の実施のため、遊佐町役場内にそのサポートのためのプロジェクトチームを立ち上げる。
- ◆ プロジェクトチームは、実際の事業を執行する際、直接若者達の支援を行う。

※ 担当課 … 議会事務局・選挙管理委員会・総務課・企画課・教育課



明日の遊佐町に
ぼくたち、わたしたちは
提案します。



**遊佐町のイメージキャラクター
「米~ちゃん (ベえ~ちゃん)」**

第2期少年議会で募集されて生まれました。
今では、遊佐町を代表するキャラクターと
なっています。